

簡閱點呼執行官參考問題集



特



始



并100  
544

簡閱點呼執行官參考問題集



大正  
3. 8. 14  
内交

●陣中要務令 (歩兵下士)	.....	一〇九
同 (歩兵兵卒)	.....	一一四
同 (騎兵)	.....	一一九
同 (野砲兵)	.....	一二四
同 (工兵)	.....	一二九
同 (輜重兵)	.....	一三二
同 (經理部)	.....	一三六
●射撃教範 (歩兵下士)	.....	一四〇
同 (歩兵兵卒)	.....	一四四
同 (騎兵)	.....	一四七
●在郷軍人心得 (下士兵卒共通)	.....	一五三

簡閱點呼執行官參考問題集

○歩兵ノ部 (下士)

歩兵操典

問、中隊ノ密集隊形ニ幾種アリヤ及其ノ隊形ヲ説明セヨ

答、正規隊形ト應用隊形トノ二種アリ

正規隊形ハ横隊ニアル三ツノ小隊ヲ八歩ノ距離ヲ以テ第一、第二、第三小隊ノ順序ニ前後ニ重疊セル隊形ナリ但時宜ニ依リテハ此ノ八歩ノ距離ヲ伸縮シ又小隊ノ順序ニ拘ラス重疊シ或ハ小隊ヲ一列トナスコトアリ

應用隊形ハ通常併立縦隊、横隊及側面縦隊トス而シテ併立縦隊トハ中隊縦隊ヲ側面向トナシタルモノ、横隊ハ三小隊

チ一線ニ併列シタルモノ、側面縱隊ハ側面向ニアル小隊ヲ重疊シタルモノトス

問、密集隊形ニアル中隊ノ射撃ニ幾種アリヤ

答、各個射撃ト一齊射撃トノ二種アリ

問、戦闘間指揮官ノ連繫ニ就テ述ヘヨ

答、戦況ノ變化ニ從ヒ已カ觀察セシ狀況特ニ敵狀、地形及自己ノ行動等總テ戦闘ニ影響ヲ及ホスヘキモノハ時機ヲ失セズ之ヲ直屬指揮官ニ報告ス

問、散兵線ニ於ケル分隊長ノ任務ヲ述ヘヨ

答、小隊長ヲ補佐シ號令ノ普及ヲ以テ主要トス故ニ分隊長ハ所要ニ應シ中隊長又ハ小隊長ノ號令ヲ複令シ分隊ヲ誘導シテ射撃ニ便ナル位置ニ就カシメ常ニ敵情ニ注意シテ兵卒地

物ノ利用適當ナルヤ、正シク照尺ヲ裝スルヤ、目標ノ撰定宜シキヤ、精密ニ照準シ沈着シテ射撃ヲナシアルヤ、彈藥ヲ浪費セサルヤ、能ク指揮官ニ注意シアルヤヲ監視シ又必要ト認メタルトキハ自ラ火線ニ加リ射撃ヲ行フ其ノ他分隊長ハ小隊長ニ代リテ小隊ヲ指揮スルコトアリ戰鬥酣ナルニ方リテハ縱ヒ小隊長現在スルモ屢々自カラ其ノ分隊ノ射撃指揮ニ任セサルヘカラス故ニ地形ノ利用、目標ノ判斷、射彈ノ觀測等ニ熟練スルコト必要ナリ

問、歩兵ノ戰鬥手段ヲ述ヘヨ

答、剛健ナル意志ヲ以テ絶ヘス敵ニ向ヒ勇進シ射撃ヲ以テ敵ヲ壓倒シ突撃ヲ以テ之ヲ摧破スル是レ歩兵ノ戰鬥手段ナリ而シテ射撃ハ戰鬥經過ノ大部分ヲ占メ突撃ハ勝敗ニ最終ノ

決チ與フルモノトス

四

問、敵兵我陣地ニ突入シ來ラハ如何ニ働作スルヤ

答、陣地ニ在ル者ハ全力ヲ盡シテ最後迄奮闘シ後方部隊ニ在ル者ハ其ノ混亂ニ乘シ前線ニ増加突進シテ果敢ナル攻撃ヲ行ヒ陣地ノ恢復ヲ圖ルモノトス

問、夜襲ノ實施法ヲ述ヘヨ

答、射撃ヲナスコトナク靜肅ニ前進シ至近ノ距離ニ於テ不意ニ敵ニ肉迫シテ銃劍ヲ振ヒ一舉ニ決戦ヲ求ムルモノトス而シテ突撃ノ際ハ喊聲ヲ發セス又喇叭ヲ吹奏スルコトナシ

問、歩兵ノ性能ヲ述ヘヨ

答、歩兵ハ縦ヒ他兵種ノ協同ヲ闕クコトアルモ自ラ能ク戰闘ヲ準備シ且之ヲ遂行スルコトヲ得是レ軍ノ主兵タル所以ナ

リ而シテ其ノ特色トスル所ハ地形及時期ノ如何ニ拘ラス戰闘ヲ實行シ得

問、歩兵ノ性能上闕クハカラサル要素ハ何々カ

答、攻撃精神ノ鞏固、體力ノ强健、及武技ノ熟練ハ歩兵ニ闕クハカラサル要素ナリ

問、散兵ニ據ルヘキ位置、取ルヘキ姿勢及銃ノ使用ノ自由ヲ許シアルハ如何ナル理由ニ基クヤ

答、散兵ヲシテ耳目ヲ活動シ、敵兵及指揮官ニ注意シ地物ヲ巧ミニ利用シテ火器ノ効力ヲ發揚シ且瞬間ノ判斷ヲ以テ獨斷事ニ處セシムル等要スルニ其任務ヲ盡スニ便ナラシメムカ爲ナリ

問、散兵ハ多クノ場合直進スルヲ有利トスル理由如何

五

答、直進ハ敵ニ接近スル最捷路ニシテ速ニ敵ニ接近スレハスル程自己ノ火器ヲ有効ニ使用スルヲ得ルノミナラス敵火ニ暴露スル時間ヲ減シ隨テ損害ヲ少ナクスルヲ得レハナリ

問、散兵教練ノ目的ヲ述ヘヨ  
答、兵卒ニ地形ヲ利用シテ行進シ、停止シ、射撃シ、突撃スルコトニ熟知セシメ且攻撃精神ヲ養成スルヲ散兵教練ノ目的トス

歩兵操典 (兵卒)

問、散兵力カ地物ヲ利用スルハ何ノ爲カ  
答、第一ニ射撃ノ効力ヲ増ス爲次ニ敵ノ目視ヲ妨ケテ損害ヲ少ナクスル爲ナリ

問、散兵停止セントスルトキハ如何ナル注意力必要カ

答、最モ多ク銃ノ効力ヲ現シ得ヘキ場所ヲ選ヒ次ニ敵ノ目視ヲ困難ナラシムル如ク注意ス但之カ爲停止ノ際躊躇シテハナラヌ

問、射撃ノ効力ヲ増スニハ散兵ハ如何ナルコトヲ守ラテハナラヌカ  
答、射撃ノ諸規則ヲ守リ特ニ照準ヲ精密ニシ沈着シテ射撃スルヲ最モ必要トス

問、夜間ノ突撃ニ於テ兵卒ノ心得フヘキコトヲ述ヘヨ

答、靜肅ヲ守ルコト、連絡ニ注意スルコト、射撃ヲナササルコト、喇叭ヲ吹奏セサルコト、喊聲ヲ發セサルコト  
問、防禦ニ於テ彈藥ヲ射チ盡シタルトキ又ハ重圍ニ陥リタルトキハ兵卒ハ如何ニ働作スルヤ

答、自分ノ銃劍ヲ使用シ最後ノ勝利ヲ得ムコトヲ努ム

問、防禦ニ於テ兵卒ノ守ルヘキコトヲ述ヘヨ

答、其ノ位置ヲ固守シ決シテ動搖シテハナラヌ又敵兵近接スルニ從ヒ我カ射撃ノ効力ハ益々多キコトヲ考ヘ沈着シテ防禦戰ヲ續ケ逆襲ノ命ヲ待ツ

問、負傷シテ戰鬥ニ堪ヘサル兵卒ハ如何ニスルヤ

答、己カ所有スル彈藥ヲ戰友ニ渡シ上官ノ命ヲ待チテ徐ロニ戰線ヲ退ク

問、戰鬥中隣兵ニ負傷者ヲ生シタルトキハ如何ニスルヤ

答、自分ハ依然戰鬥動作ヲ續ケ負傷者タル隣兵ヨリ其彈藥ヲ受取ル

命令ナクシテ負傷者ヲ勞ウリ又ハ運搬スル考ハ卑怯者トシ

テ處分セラレルモノトス

問、戰鬥中所屬部隊ノ所在ヲ見失ヒタル兵卒ハ如何ニスルヤ

答、近傍ニテ戰鬥シツアル部隊ニ合シ其ノ將校ニ届出テ其ノ命令ニ從フテ戰鬥ス戰鬥終レハ自分ノ所屬隊ニ歸ル

問、突撃ヲ行フニ方リ勝利ヲ得ムカ爲兵卒ハ如何ナル覺悟カ必要ナリヤ

答、一回ノ突撃ニテ成功セサルトキハ幾度カ之ヲ行ヒ死力ヲ盡シテ突撃ノ目的ヲ達セシムコトヲ努ム

問、戰鬥間他隊ト混淆シタルトキハ兵卒ハ誰ノ指揮ヲ受ケテ戰鬥スルヤ

答、自分ニ近ク位置シアル分隊長ノ指揮ヲ受ケテ戰鬥ス

# ○ 騎兵ノ部

## 馬學摘要

問、騎兵卒トシテ軍馬ニ對スル心得

答、騎兵カ軍ノ耳目タル至大ノ任務ヲ達成センニハ偏ニ馬ノ力ニ依ルニアラサレハ能ハサルナリ故ニ騎兵タルモノハ此活動武器ト特ミ唯一ノ戰友ト特ムヘキ馬ニ對シテハ常ニ自己ノ身體ノ如ク心得テ愛護セサルヘカラス

問、馬ノ毛色ニハ如何ナル種類アリヤ

答、鹿毛、栗毛、葦毛、槻毛(月毛)、青毛ノ五種アリ

(下)問、乘馬ニハ如何ナル馬ヲ適當トスルヤ

答、體軀中庸ヲ得特ニ四肢強壯ニシテ前軀輕ク悍威アルモ



ノチ可トス

問、馬ノ靜止シアルトキノ呼吸ハ一分間ニ何程ナルヤ

答、八乃至十二ナリ

問、馬ハ呼吸カ何程ニ到ル迄運動ヲ要求シ得ルヤ

答、百五十ヲ以テ最大限トス但シ此程度ニ達シタル以後ハ若干時ノ常歩ヲ行ヒ以テ呼吸ノ恢復ヲ圖ルヲ要ス

(下)問、馬ノ速歩及駈歩ノ歩法ヲ説明スヘシ

答、速歩ハ二節次ニシテ前後斜對兩肢同時ニ地ヲ離レ又同時ニ着地ス

駈歩ハ三節次ニシテ第一外方後足第二外方前足及内方後足第三内方前足ノ順序ニ着地

問、馬ノ手入ハ如何ナル効用アリヤ

答、馬體ヲ清掃シテ美觀ヲ與ヘ諸機能ヲ盛ニシ皮膚病及外傷ヲ豫防シ發育ヲ善良ナラシメテ馬ノ健康ヲ保續スルノ効アリ其要恰モ人ノ入浴スルニ異ナラス

問、行軍ニ際シ休止ノ時馬ニ對スル注意ヲ問フ

答、成ルヘク馬口ヲ洗滌シ或ハ少量ノ飲水ヲナサシメ蹄ヲ檢查シ時間ニ餘裕アレハ鞍ヲ卸シ束藁或ハ藁ヲ以テ馬背及四肢ヲ能ク摩擦ス若シ脱鞍ノ遑ナキ小休止ノ時ハ四肢ノ手入ヲ充分ニ行フ

問、行軍中馬ノ疲勞セシ時ノ注意如何

答、確實ニ韁ヲ保持シ屢々馬頭ヲ引上ケ躓倒セサル様注意シ特ニ騎手ハ姿勢ヲ正確ニ保持セサルヘカラス

下問、馬ノ傳染病ニハ如何ナル種類アリヤ

答、炭疽、鼻疽、皮疽、假性皮疽、胸疫、腺疫、傳染性、膿疱皮炎、疥癬等アリ

問、疝痛ノ徴ハ如何

答、前肢ニテ地ヲ叩キ腹ヲ見テハ幾度モ伏臥セントシ又甚シキハ漲轉仰臥シテ呻吟シ食飼ヲ與フルモ顧ミス是疝痛ノ徴トス

問、疝痛ノ原因如何

答、飼料過多、腐廢物及不消化物ノ飲食、冷水ノ過飲過度ノ勞動中毒ノ爲ニ起ル

問、鞍傷ノ原因及手當方ヲ問フ

答、鞍ノ不適合、鞍下毛布ノ置方不良、乘馬姿勢ノ惡シキ并裝具ノ重量不平均ニシテ馬背ノ壓迫一樣ナラサル爲鬚

甲背部ニ擦傷ヲ生スルモノトス

手當方トシテハ先ツ原因ヲ除去シ皮膚ノ浮上リタル片ハ清潔ナル布類ヲ以テ患部ノ上ニ置キ絶エス冷水ヲ灌キテ冷却ス又傷狀ヲ呈シタルトキモ此方ニ同シ

問、繫輝トハ如何ナル病ナルヤ

答、寒中、泥中或ハ雨後等ニ於テ手入不充分ニシテ繫部ニ濕氣ヲ滯フルカ又ハ不潔ナルトキハ繫壁荒レ甚シキハ出血シテ跛行スルニ至ル

問、蹄葉炎トハ如何ナル病ナルヤ

答、乗用過度、稜角地ノ騎乗或ハ精分強キ穀類（裸麥、米、小麥、大豆等）ヲ過食シ又飲水不足ニシテ激動シタル片ニ生スルモノニシテ蹄ニ熱ヲ生シ呼吸稍逼迫シテ跛行

問、馬ニ乗ルニハ扶助ノ一致ヲ要ス扶助ノ一致トハ何ヲ云フ

答、騎坐、脚、韁ノ三ツノ一致ヲ云フ

問、騎坐トハ如何

答、騎坐トハ腰ヨリ以下膝ニ至ル迄鞍ニ附着スル部分ヲ稱スルモノニシテ兩坐骨(主トシテ上體ノ重量ヲ負擔ス)及縫際ヲ以テ其基礎トス  
御術上極メテ必要ナルモノニシテ騎坐堅確ナラサレハ温和ニ馬ヲ御シ確實ニ武器ヲ使用スル能ハス

問、韁ノ扶助及之カ扶助中注意スヘキ件ヲ述ヘヨ

「控ユル」ト「弛ムル」トノ二ツアリ  
「控ユル」トハ兩拳ヲ後方ニ向ケ撚轉シ小指ヲ體ニ近接スルヲ云フ

「弛ムル」トハ兩拳ヲ前方ニ向ケテ撚轉シ小指ヲ體ヨリ遠サクルヲ謂フ而シテ注意スヘキ要件ハ

- (一)馬ノ自然ノ運動ヲ妨ケサルコト
- (二)步調ヲ整ヘ馬ノ姿勢ヲ保持スルモノニシテ兵卒ノ已レヲ維持センカ爲用ユヘキモノニアラサルコト
- (三)脚ノ扶助ト相待テ使用スヘキモノニシテ如何ナル場合ト雖モ之ヲ單獨ニ使用スルハ更ニ其効ナキノミナラス反テ害アルモノナリ

問、脚ノ扶助ヲ問フ

答、脚ノ扶助ハ脚ヲ以テ馬體ニ附着シ又ハ輕打シ或ハ壓迫ヲ施スニ在リ而シテ馬ヲ運動セシムルニハ脚ノ扶助之レカ主トナルモノナリ

問、拍車ノ用法及之レカ注意ヲ問フ

答、拍車ハ左ノ場合ニ使用ス

- (一)脚ノ操作ニ從ハサルトキ
- (二)一時多大ノ勞力ヲ要求スルトキ
- (三)懲戒ノトキ

(一)(二)ノ場合ニ於テハ脚ヲ壓シタル儘肚帶ノ後方約一拳幅(十珊)ノ所ニ之ヲ壓シ(三)ノ場合ニハ同一ノ要領ニテ一回若クハ數回ノ刺撃ヲ施スモノトス然シテ拍車ヲ使用スルカ爲兵卒ハ特ニ脚ヲ馬體ヨリ離隔シ

又ハ其姿勢ヲ變シテハナラヌ

(下)問、駈歩用意、卷乘旋回等ヲナスニハ先ツ内方姿勢ヲ採テハナラヌ其内方姿勢トハ何ソヤ及之カ扶助ヲ述ヘヨ

答、内方姿勢トハ頭ヲ屈撓シ内方後足ヲ踏ミ込ミ馬ノ全體ヲ同方側ニ屈撓セシムルヲ云フ而シテ此姿勢ヲ採ラシムルニハ先ツ馬ヲ收縮シ内方脚ハ腹帶ニ接シ外方脚ハ腹帶後ニ位置シ騎坐ト一致シテ内方後足ヲ踏込マシメ又内方韁ヲ輕ク控エ外方韁ハ適度ニ之ヲ節シ馬ヲシテ外方韁ニ依倚セシメツ、頭ヲ少シク内方ニ向ハシム

(下)問、馬ノ各種ノ步度ヲ問フ

答、常	步	一分間	百米	突
速	步	一分間	二百十米	突

駮 步

一分間

三百十米突

伸暢駮步

一分間

四百二十米突

問、前肢旋回ノ扶助ヲ述ヘヨ

答、前肢旋回ハ前肢ノ周圍ニ後軀ヲ旋回スルモノニシテ其扶助ハ先ツ旋回スヘキ方向ニ内方姿勢ヲ取ラシメ次ニ内方脚ヲ以テ後軀ヲ一步宛旋回セシメ外方脚ハ肚帶ノ後方ニ在テ後軀ノ急轉ヲ防クモノトス此際後軀ヲ轉セシムル爲内方韁ヲ引クヘカラス

問、後肢旋回ノ扶助ヲ問フ

答、後肢旋回トハ後肢ノ周圍ニ前軀ヲ旋回スルモノニシテ其扶助ハ先ツ旋回スヘキ方向ニ内方姿勢ヲ執ラシメ外方脚ヲ以テ後軀ヲ支持シ内方脚ト一致シテ馬ノ前軀ヲ揚ケ

ツ、外方韁ニ依リ馬ノ頸ヲ内方ニ過度ニ屈ケサル如ク保持シ内方韁ヲ以テ馬ヲ導キ一步宛旋回セシム

問、駮歩ノ扶助ヲ述ヘヨ

答、一、駮歩用意、馬ニ内方姿勢ヲ執ラシメ兩脚ノ壓迫ヲ少シク増加シ輕ク前軀ノ起揚ヲ求ム  
二、駮歩、兩脚ヲ以テ稍々強ク馬ヲ韁上ニ壓出シ内方脚ニテ輕ク短切ナル壓迫ヲ施スト同時ニ外方拳ヲ輕ク上方ニ操作シテ飛躍ヲ催ス

(下)問、鐙ヲ用ユルトキ通常犯シ易キ過失ヲ擧ケヨ

答(一)騎坐及脚ノ扶助ニ自由ヲ缺キ時機ニ適合セサルコト多シ

(二)踵ヲ低下セスシテ脚ヲ後方ニ引ク過失アリ

(三) 踵ヲ低下シ脚ヲ馬體ヨリ離隔シテ前方ニ出ス過失アリ

(四) 膝ノ緊着ヲ減シ甚シキハ膝ニ三角形ノ空隙ヲ生スル過失アリ

問、狭キ道路ノ通過法ヲ述ヘヨ

答、狭キ道路ヲ通過スルトキハ馬ノ性質ニ應シテ扶助ヲ操作シ成ルヘク之ヲ沈着セシメ又呼聲ヲ以テ之ヲ安心セシメツ、兩脚ヲ以テ和カニ壓シテ隘路内ニ進入セシム既ニ隘路内ニ入レハ全ク韁ノ自由ヲ與ヘ上体ヲ靜カニ保チテ馬ヲ沈靜ナラシム可シ然レトモ絶ヘス手脚ヲ準備シ馬ノ偏逸又ハ臀ノ逃避蹉跌等ニ應シ得ル如ク絶ヘス注意スルヲ要ス

其他馬ノ蹈ミ外シタルトキハ直ニ飛下リ人馬ノ安全ヲ圖ルヲ要ス

問、水流ヲ騎乘通過スル方法並ニ之カ注意ヲ述ヘヨ

答、水流ヲ通過スルニハ直線ニ對岸ニ到達スル爲メ馬ヲ少シク斜ニ水流ニ逆向スルヲ可トス又假令水中ノ岩石又ハ起伏物ニ由リ蹉跌スルモ顛倒セシメサル爲充分之ヲ韁脚ノ間ニ保持スルヲ要ス又兵卒ハ眩暈ヲ感セサル爲メ成ルヘク水面ヲ視ルコトヲ避ケ絶ヘス其到着點ニ注視スルヲ要ス

馬若シ水ヲ飲マントスルトキハ充分之ヲ收縮シ且兩脚ヲ以テ壓進シ馬ヲシテ駐立シ又ハ其頭ヲ低下セシメテハナラヌ

馬若シ水中ニ於テ前足ヲ以テ水ヲ撃チ後軀ヲ傾屈セントスルハ伏臥セントスルノ徵ナリ此ノ際兵卒ハ直チニ馬頭ヲ高擧セシメ兩脚ヲ以テ迅速ニ劇シク壓進スヘシ

馬ノ飼養法

問、騎兵隊馬馬糧一日ノ定量ハ何程ナルヤ

答、大麥一貫三百匁干草一貫匁藁一貫匁

問、馬ノ飼喰ノ惡シキトキハ如何ニナスカ

答、飼ヲ檢シ異狀ノ有無ヲ確メタル後清水ヲ以テ洗滌シ或ハ少量ノ鹽又ハ青草ヲ刻ミ混合シテ與フ

問、切藁ハ如何ナル効用アリヤ

答、麥ヲ充分齟嚼シタル後嚙下セシムルノ利アリ

問、馬ニ水ヲ與フルハ飼付ノ前ナルヤ後ナルヤ

答、前ナリ若シ飼付後直チニ飲水セシムルトキハ飼ノ消化ヲ不良ナラシムルモノナリ

問、寒中殊ニ朝ニ於テ水ヲ飲マサル馬アル片ハ如何ニスルヤ

答、此場合ハ先ツ手ヲ以テ水ヲ攪動シ馬ノ口ニ濡スヘシ斯クスルトキハ馬ハ若干ノ水ヲ飲ムモノナリ又水面ニ藪、

切藁、糠等ヲ撒布スルトキハ効アリ

以上ノ如クスルモ尙飲マサル場合ニハ若干ノ運動後（第一休止ニ）於テ飲水セシムルノ注意ヲ緊要トス

問、馬ヲ繫クトキノ注意如何

答、寢張頭絡ヲ檢シテ後喉紐ヲ適度ニ締ム又馬房ノ内ニ破損ノ箇所ナキヤ等ニ就テ注意シ外傷ヲ豫防シ特ニ寢張綱ノ長サヲ適度ニシテ網傷セシメサル様注意ス

問、寢藁ハ如何ナル効用アリヤ

答、人ノ褥ト同様ナリ故ニ清潔ニシテ豊富ナルヲ可トス

問、大麥ニ代用スヘキモノハ何々ナルヤ

答、燕麥ハ大麥ニ優レリ又玄米、大豆、裸麥ヲ代用スルヲ

得但シ多量ニ與フルハ不可ナリ

問、干草ニ代用スヘキモノハ何ナルヤ

答、生草、藁、大豆稈、大麥トス

問、藁ニ代用スヘキモノハ何ナルヤ

答、粟稈、麥稈、王蜀黍稈トス

問、分配セラレタル馬糧ニ對シテ如何ニ注意ヲナスヤ

答、能ク點檢シ若シ泥土、塵埃ノ附着シアルトキハ能ク除

去ス、例ハ麥ノ中ニ塵埃、砂礫等ヲ見ルカ或ハ藁ノ根ニ

土ノ附着シアルトキハ出來ル丈ケ之ヲ取り去リテ後與フルコト

問、馬ハ定量以外ニ食物ヲ與ヘテ可ナルヤ

答、定量ハ適度ヲ示シタルモノナレトモ少量ノ大麥燕麥及

干草等ハ定量以外ニ與ヘテモ差支ナシ殊ニ玄米、裸麥、

豆等ノ類ヲ多量ニ與フルハ危険ナリ

問、毒草ノ名三以上ヲ示セ

答、アセビ、ドクゼリ、センニンソウ、キンボトケ

問、戰時ノ携帯馬糧ハ如何

答、一日量 玄米二升五合或ハ大麥五升



### ○野砲兵ノ部

彈藥及火具ノ種類取扱並ニ効用ノ大意

問、野戰砲兵ノ使用スル彈丸ハ幾種アルヤ

答、榴霰彈及榴彈ノ二種トス

問、野戰砲兵ノ使用スル彈藥ニ三一式ト三八式トアリ其區別如何

答、三一式ハ分離彈藥筒ニシテ三八式ハ完全彈藥筒ナリ

問、野戰砲兵ノ使用スル彈丸ニハ如何ナル信管ヲ用ユルヤ

答、三一式ニアリテハ複働信管、彈底信管ノ二種ヲ用ヒ三八式ニアリテハ複働信管ノミテ用ユ

(下)問、榴彈トハ如何ナルモノナルヤ

答、三一式ニアリテハ鋼製ニシテ彈頭彈体ノ二部ヨリ成リ螺絲ニヨリテ互ニ螺著シ彈底ニ螺孔アリテ彈底信管ヲ螺著ス三八式ニアリテハ鋼製ニシテ啄螺ト彈体トノ二部ヨリ成リ螺絲ニヨリテ互ニ螺著シ其啄螺ニハ複働信管ヲ螺著ス又炸藥ハ三一式、三八式共ニ黃色藥ニシテ爆發力極メテ大ナリ

(下)問、榴霰彈トハ如何ナルモノナルヤ

答、鋼製ノ被套内ニ三一式ニアリテハ二百三十四個三八式ニアリテハ二百七十個ノ彈子ヲ收容シタルモノニシテ彈子間ニハ松脂ヲ填實シアリ彈體上部ニ啄螺ヲ螺著シ茲ニ複働信管ヲ附ス炸藥ハ彈底部ニアリテ黑色小粒藥トス

問、彈底信管ハ如何ナル作用ヲナスヤ

答、發射セル彈丸物體ニ衝突シタル際發火スルモノトス

(下)問、複働信管ハ如何ナル作用ヲナスヤ

答、此信管ノ發火裝置ハ著發裝置ト曳火裝置トノ二種アリ著發裝置トハ榴霰彈ヲ發射スルトキ彈底信管ト同シク物體ニ衝突シタル後發火スルノ裝置ニシテ曳火裝置トハ彈丸發起ノ際發火シテ火道ヲ燃燒シ所望ノ空中ニ於テ彈丸ヲ破裂セシムル裝置ヲ云フ

問、複働信管ニ錫帽ヲ附スル理由如何

答、信管火道内ニアル火藥ハ濕氣ヲ吸收シ燃燒時ニ遲速ヲ生シ爲メニ曳火彈ノ破裂ヲ不正ナラシムルヲ以テ錫帽ヲ附シ濕氣ノ吸收ヲ豫防スル爲ナリ

問、榴霰彈ノ信管ヲ測合シタル後之ヲ使用セス格納セントスルトキハ如何ナル注意ヲ要スルヤ

答、信管ヲ安全ノ位置ニ返シ且ツ曳火活機ノ栓ヲ插シ可成錫帽ヲ冠シテ格納スルニアラサレハ危険ノ恐アリ

問、藥筒内ニアル裝藥ハ如何ナルモノナルヤ

答、一號帶狀藥ナリ

問、藥筒取扱ノ際特ニ注意スヘキ件如何

答、藥筒底ニハ其ノ中央ニ爆管ヲ附シアルヲ以テ若シ此ノ部分ヲ突起スル物體ニ撃突セシムルトキハ發火スルノ恐アリ故ニ取扱ニ際シ特ニ藥筒底ヲ物體ニ觸レシメサル様注意ヲ要ス

問、榴彈ノ効用如何

答、障碍物或ハ掩護物ヲ破壊シ且ツ其背後ニアル人馬ニ危害ヲ與ヘ又其爆鳴ハ士氣ヲ沮喪セシムル効用アリ又三八式ニアリテハ曳火榴彈ナルヲ以テ殊ニ然リトス

問、著發榴霰彈ノ効用如何

答、堅固ナラサル建築物ヲ破壊シ又其ノ附近ニアル人馬ヲ殺傷セシム然レトモ使用上普通試射ニ用ユ

問、曳火榴霰彈ノ効用如何

答、空中ニ於テ破裂シ彈子ヲ敵ノ頭上ヨリ雨下シテ人馬殺傷ノ効力ヲ逞フス

(下)問、射撃ノ際爆管不發ノトキハ暫時(約テ十五秒)ノ後ニアラサレハ閉鎖機ヲ開クコト能ハサル理由如何

答、爆管發火セルモ裝藥ニ點火スルヲ遲延スルコトアリ故

ニ此ノ如キ場合直ニ閉鎖機ヲ開クハ危険ナルノミナラ  
ス材料ヲ破損ス故ニ以上ノ時間ヲ置テ不發ヲ確ムルナリ

馬學ノ摘要

(下)問、馬ノ堅肥ニシテ毛ニ光澤アルハ如何ナル徵候ナルヤ

答、飼方ト労働ト調和シ且ツ手入良好ナル兆トス

(下)問、水浴ノ利害

答、水浴ハ肢體ノ疲勞ヲ醫シ皮膚ヲ清潔ナラシムルノ利ア

ルモ長時(十五分位ヲ適度トス)ノ水浴又ハ冬季ノ水浴ハ

反テ害アリ而シテ水浴ハ浴後ノ乾燥不充分ナルトキハ繫

輝又ハ凍傷等ノ原因トナル

問、蹄鐵改装ノ期ハ畧ホ幾何ナルヤ若シ其期ヲ過クルトキハ

如何ナル害アルヤ

答、四週乃至六週毎ニ行フヲ要ス若シ蹄壁延過クルトキハ

其負縁鐵ノ外ニ溢レ落鐵、崩蹄、裂蹄、跛行ノ原因トナル

問、蹄ニ油ヲ塗ルハ何ノ爲ナルヤ

答、蹄中含水分ノ放出ヲ防キ蹄質ヲ良好ナラシムル爲ナリ

問、蹄鐵ニハ通常幾本ノ釘ヲ用ユルヤ

答、左右兩側ニ三本ツツ即チ六本ヲ用ユ

問、馬ノ呼吸ハ何處ニテ知ルヤ又平常幾何程ナリヤ

答、呼吸ノ數ハ脾ニテ見ルカ又鼻孔ニ手ヲ當テテ知ルモノ

トス而シテ靜止ノ時ハ一分間ニ八乃至十二回位カ健康馬

ノ呼吸數ナリ

問、疝痛ノ徵ハ如何

答、前肢ヲ以テ地ヲ叩キ腹ヲ見テハ幾度モ伏臥セントスル

トキハ概子疝痛ノ徴トス

問、疝痛ノ救急法如何

答、藁ヲ以テ腹部ヲ充分ニ摩擦シ要スレハ灌腸ヲ行フ

問、舌傷ノ徴ハ如何

答、口内ヨリ涎ヲ出シ銜換ヲ嫌フヲ普通トス

問、舌傷ノ主ナル原因如何

答、恐怖シ易キ馬、反ル癖ノアル馬等銜ヲ装シテ繫カレタルトキ若クハ騎手ノ烈シク馬口ニ當リタルトキ等ニ於テ生スルモノナリ

問、蹄葉炎ノ症狀如何

答、蹄ニ熱ヲ持チ稍重症ノモノハ歩行ニ堪ハス

(下)問、蹄葉炎ヲ生スル主ナル原因如何

答、路面堅固ナル所ヲ長時間急速ノ歩度ヲ以テ騎行又ハ輓曳スルトキ若クハ玄米等ノ穀類ヲ過量ニ食シタル等ニ因ル

問、蹄葉炎ノ手當法如何

答、直ニ肢ヲ冷却シ要スレハ其蹄ノ蹄鐵ヲ除キ草鞋ヲ装ス

問、繫輝トハ如何ナル病ナルヤ及其原因

答、繫輝トハ繫ノ部分ノ手入不良又ハ濕潤ノ爲メ起ルモノニシテ此部ノ皮膚荒レ人ノ垢切ノ如キモノヲ生スルナリ  
問、繫輝ノ手當法如何

答、此部ヲ清潔ニシ且ツ乾燥ヲ保タシムルハ勿論手入ノ際ハ最モ丁寧ニ此部ヲ取扱ヒ獸醫ノ指示ヲ受ク  
問、馬ノ不健康ハ普通如何ナル兆候ヲ顯ハスヤ

答、多クハ飼料ヲ餘シ頭ヲ垂レ元氣ナク人ノ其附近ニ至ル  
モ依然頭ヲ擧ケサレハ病氣ノ徴トス

馬ノ飼養法

問、軍馬ノ食物ハ如何ナルモノナルヤ

答、大麥、干草、藁ノ三種トス

問、藁ハ如何ニシテ馬ニ與フルヤ

答、藁ハ干草ノ代用トシ或ハ短ク切リテ大麥ニ混シテ與フ

問、青草ヲ馬ニ與フル時ニハ如何ナル注意ヲ要スルヤ

答、毒草ノ混セサルコト及露ノ未タ乾カサルモノハ與ヘサ

ルコトニ注意ス

問、麥袋ヲ以テ飼付ヲ行フ方法ヲ述ヘヨ

答、示サレタル量ヲ麥袋ニ入レ其ノ紐ヲ馬ノ頭ニ懸ケ馬カ

麥ヲ食スルニツレ紐ヲ詰メ食ヒ終レハ直ニ袋ヲ脱ス

問、以上ノ如クスルモ食セサル時ハ如何ニスルカ

答、生草ヲ混シ又ハ食鹽ヲ交ヘテ與フ甚シク疲勞シタル馬

ハ斯クナシテモ尙ホ食セサルコトアリ其時ハ麥袋ヲ脱シ

疲勞稍恢復シタル時ニ與フ

問、水飼ト飼付トハ何レヲ先キニナスヘキカ

答、水飼ヲ先キニス

問、行軍中出發迄ニ飼付ヲ食シ終ラサル時ニハ如何ニスルヤ

答、残りハ麥袋ニ入レテ携ヘ行キ大休止ノ際與フ

問、馬ニ飲マシムヘキ水ハ如何ナルモノヲ適當トスルヤ

答、清ク澄ミテ惡臭ナキモノヲ適當トス清潔ナル河水井ノ

水等ハ可ナリ池、沼、海等ノ水ハ注意シテ検査ノ上ニア

ラサレハ與ヘス

問、雪氷ノ解ケタルモノハ如何

答、止ムヲ得サル時ニ非サレハ與ヘス之レ腹ヲ損フ故ナリ

問、行軍中殊ニ劇働ノ後ハ馬ノ欲スル丈ケ水ヲ飲マシテ可ナ

ルヤ

答、與フルハ不可ナリ概子休止毎ニ一升位宛與フルカ適當

ナリ

(下)問、大麥ノ代用品ニハ如何ナルモノヲ用フルヤ

答、燕麥、大豆、小麥、裸麥、稗、粟、米、玉蜀黍等ナリ

問、秣ニ代用スヘキモノハ如何ナルモノナルカ

答、藁、各種ノ麥稈、大豆稈、乾キタル萩、芒等ナリ

問、携帶馬糧ハ何時馬ニ與フルモノナルヤ

答、非常特別ノ場合ニ與フルモノニシテ上官ノ命ナケレハ如何ナル場合ニモ勝手ニ使用スルコトヲ得ス

工作物ノ名稱及摘要

問、野砲兵ノ掩體ニ幾種アリヤ又如何ナル場合ニ何レノモノヲ採用スルカ

答、二種アリ砲床ヲ自然地ニ設ケ掩壕ノミヲ設クルモノト砲床ヲ掘リテ作ルモノトアリ前者ハ時機切迫ノ時後者ハ充分ナル時間ノ餘裕アル時ニ作ルモノナリ

問、野砲兵ノ携行スル工具ノ種類ハ如何

答、圓匙、十字鍬ナリ

問、圓匙、十字鍬ノ用途ヲ述ヘヨ

答、圓匙、ハ柔軟ナル土地ノ掘開投土ニ用ヒ十字鍬ハ硬ク

シテ圓匙ヲ用ヒ難キ地ノ堀開ニ用フ

(下)問、掩體ノ高サ及掩壕ノ深サハ幾何ナルカ

答、共ニ七十珊知米ナリ

(下)問、砲床ノ幅及之レヲ堀下スル時ノ深サハ幾何ナルカ

答、幅ハ主線ノ左右各々一米四十、砲床堀下ノ度ハ七十珊

知米ナリ

問、掩體ノ高サハ高クシテ堅固ナルヲ可トスルヤ又ハ低ク堀

ルヲ利トスルヤ

答、高サハ力メテ低クスルヲ有利トス

問、掩壕ニ於テ敵方斜面ハ急峻ニ切りタツルヲ可トスルヤ又

ハ緩ニナスヲ利トスルヤ

答、急峻ニナスヲ利トス之レ掩護確實ナレハナリ

問、堀開セシ土甚シク自然地ト色ヲ異ニセハ如何ニスルカ

答、附近ニアル物料ヲ以テ近傍ノ土地ト同様ノ色ニナル如

ク被フ

問、柔軟ナル土地ヲ砲床トナス時ハ如何ナル設備ヲ要スルヤ

答、架尾、車輪下ヲ搗キ固メ又ハ車輪下ニ厚板、木桿若ク

ハ束柴等ヲ砲軸ト直角ニ敷ク

問、土質粗鬆ニシテ乾燥セル地ニテハ如何ナル注意ヲ要スル

ヤ

答、發射毎ニ砂塵ヲ飛揚スルヲ防カンカ爲水ニ浸セル布、

或ハ蓆等ニテ砲車前方ノ土ヲ覆フカ又ハ單ニ水ヲ撒ク

問、野砲兵ニ掩體ヲ設クルノ主旨如何

答、敵彈ノ爲無益ナル損害ヲ蒙ルコトヲ避ケ必要ノ機ニ望



ミ充分ニ働カンカ爲ナリ故ニ射撃急速ヲ要スル場合ノ如キハ射撃ヲ第一トシ掩體ニヨルカ如キハ斷念スヘキモノトス

問、射界ノ清掃トハ如何ナルモノカ

答、照準及射撃ヲ妨クヘキモノヲ除去シ射撃ノ威力ヲ發揚スル様ニナスコトナリ

問、掩體ノ構築ト射界ノ清掃ト何レカ重要ナリヤ

答、射界ノ清掃カ大切ナリ

問、土嚢ニテ被覆スル方法ヲ述ヘヨ

答、土嚢ニ土ヲ填實シ其長側ト短側トヲ交互ニ又ハ短側ノミヲ斜面ニ向ケ接合部ヲ交叉シテ重疊ス

(下)問、糾草被覆ノ要領如何

答、糾草ハ長幅共ニ約三〇珊知、厚サー〇珊知ニ切り取り草面ヲ下方ニシテ各層ノ接合部ヲ交叉スル如ク重疊シ其内側ニ土ヲ填實ス最上層ノ糾草ハ草面ヲ上ニス

# ○重砲兵ノ部

(下士卒)

問、重砲兵ノ用フル火砲ノ種類ハ如何

答、加農、榴彈砲、臼砲ノ三種類ニシテ加農ニハ廿七珊加農、廿四珊加農、十珊加農、榴彈砲ニハ廿八珊榴彈砲、十五珊榴彈砲、十二珊榴彈砲、臼砲ニハ廿四珊臼砲、十五珊臼砲ノ諸種類アリ

問、加農ハ如何ナル用務ヲナスヤ

答、強装藥ヲ用ヒ平射ヲ以テ大口徑加農(廿七珊、廿四珊加農)ハ舷側及甲板上ノ人員材料ヲ射撃ス又中徑加農(十二珊、十珊加農)ハ堡壘砲臺及人馬若クハ端艇、小蒸汽船等

ヲ射撃ス

問、榴彈砲ノ用務ハ如何

答、砲身短カク弱キ裝藥ヲ用ヒ擲射ヲ以テ大口徑ノモノハ甲板ヲ射貫シテ艦内ヲ破壊シ中口徑ノモノニアリテハ堡壘砲臺及人馬ヲ射撃ス

問、臼砲ノ主務ハ如何

答、臼砲ハ榴彈砲ヨリ尙砲身短カク弱裝藥ヲ用ヒ擲射ヲ以テ大口徑ノモノハ(廿四珊臼砲)甲板ヲ射貫シ艦内ヲ破壊シ小口徑ノモノニアリテハ堡壘砲臺及人馬ヲ射撃ス

問、破甲彈、堅鐵彈、被帽彈、破甲榴彈、榴彈トハ如何ナルモノナルヤ

答、破甲彈トハ鋼製ニシテ彈頭尖銳ヲナシ彈底ニ信管ヲ裝シ

其用ハ艦船ノ抗力主大ノ物件ヲ洞貫破壊スルニ用ユ

堅鐵彈トハ鑄鐵製ニシテ彈頭ヲ尖銳ニシ彈底ニ信管ヲ裝シ

其用ハ艦船ノ鐵板ヲ射貫シ又堡壘砲臺ヲ射撃スルニ用ユ

被帽彈トハ特ニ彈頭ニ鋼製ノ被帽ヲ施シタルモノニシテ艦

船ノ帶甲ヲ射洞スルニ用ユ

破甲榴彈トハ鋼若クハ鑄鐵製ニシテ彈頭尖銳ヲナシ多クハ

黃色藥ヲ填實シ彈底信管ヲ装着シ爆裂ノ威力ニ依リ艦船、

堡壘、砲臺等ヲ破壊シ人馬ヲ殺傷スルニ在リ

榴彈トハ鋼若クハ鑄鐵製ニシテ彈頭尖銳ナラス信管ハ先頭

ニ装着シ艦船ノ甲板又ハ薄弱ナル舷側ヲ射撃シ又ハ堡壘、

砲臺、人馬ヲ射撃シテ殺傷破壊スルニアリ

問、着發信管トハ如何ナル作用ヲナスヤ

答、彈丸ノ物体ニ衝突スルニ際シ始メテ發火準備ヲ採リ同時ニ火ヲ炸藥ニ傳ヘ彈丸ヲ破裂セシムル仕掛ケニシテ榴彈ニ用ユ

問、曳火信管トハ如何ナル作用ヲナスモノナルヤ

答、彈丸發起ニ當リ發火準備ヲ採リ空中所望ノ點ニ於テ火ヲ炸藥ニ傳ヘ彈丸ヲ破裂セシムル仕掛ケニシテ榴霰彈ニ用ユ

問、「カポニエル」トハ如何ナル所ニ設ケ如何ナル用務ヲナスヤ

答、堡壘ノ外壕内ニ設ケ壕内ヲ側防スルニ用ユ

問、攻城砲臺ニ要スル彈藥ノ補給ハ通常何レヨリ受クルヤ

答、彈藥中間廠ヨリ補給ス(彈藥中間廠ハ彈藥廠ト砲臺トノ中間ニ設ケラレ彈藥中間廠ノ彈藥ハ彈藥廠ヨリ補給ス)

問、攻城砲臺ノ築設及火炮ノ進入ハ通常何レノ時機ニナスヤ

答、通常夜間敵ノ視目ヲ避ケ砲臺ヲ築設シ拂曉前ニ火炮ヲ進

入セシム

問、砲臺衛兵ノ任務ハ如何

答、敵ニ對シテ警戒スルハ勿論砲臺内軍紀風紀ノ監視ヲナス

問、軍艦ノ種類ハ如何

答、戦闘艦、巡洋艦、海防艦、砲艦、通報艦、驅逐艦、水雷艇、水雷母艦、潜行水雷艇

問、軍艦ト商船トハ通常何ニヨリ見分ルカ

答、軍艦ニハ通常砲門、司令塔、砲塔、檣樓等アリ

問、艦船ノ致命部ハ何レニアルヤ

答、煙筒ノ下部吃水下ニアリ

問、歩哨ノ射撃シテ警報スルノ時機ハ如何ナル時ナルヤ

答、敵ヲ發見シ若シ猶豫セハ危殆ニ陥ルト認メシ時又ハ敵襲

ト知リタルトキハ急劇、射撃ヲナシテ警報ス

# ○工兵ノ部

## 築城學ノ摘要

問、散兵壕ノ胸牆ノ厚サハ何程ニセハ可ナルヤ

答、通常一米突ニテ可ナリ

問、散兵壕ヲ作ルトキ堀リ出シタ土塊又ハ斜草ハ如何ニ利用

スルヤ

答、内斜面ノ被覆ニ用ユ

問、内斜面ノ傾ハ如何ニセハ可ナルヤ

答、成ルヘク急ニスルヲ可トス

問、掩蔽部ヲ作ルニ六分板丈アル時ハ如何ニ使用スルヤ

答、二枚又ハ三枚重テ強サヲ増ス如ク使用ス

問、散兵壕ト掩壕トハ如何ニ異ルヤ

答、散兵壕ハ散兵ノ據ルモノナルヲ以テ射撃ニ便ナル如ク  
構築シ掩壕ハ援隊等ノ據ルモノナルカ故ニ射撃ヨリハ寧  
ロ掩護ヲ確ニスル如ク構築ス

問、樹枝鹿砦ニ用ユル樹枝ハ如何ナルモノヲ有利トスルヤ

答、枝ノ茂テ張り開イタ潤葉樹ノ腕ノ大サ位ノモノヲ宜シ  
トス

問、鐵條網構築ニ於テ大ナル鐵線ヲ用ユルトキノ注意如何

答、各杭ノ脚ヨリ他ノ杭ノ頭ニ向ヒ交叉シタル方向ト各杭  
ノ頭ト地上約二握リノ所トノ二ヶ所ニ各杭ノ間ニ水平ニ  
張ル如ク注意ス

問、小杭ノ構築法如何

答、兩端ヲ尖シタル長サ五十珊知乃至六十珊知ノ樹稈或ハ

竹ヲ相互不等ノ距離(〇米一〇乃至)米三〇)ヲ間シ地上不等  
ノ長サニ植立ス

問、土嚢ヲ用フル被覆法如何

答、交互ニ土嚢ノ短キ側ト長イ側或ハ短キ側ノミヲ斜面ニ  
向ケ其接キ合セテ交叉シ之ヲ重疊ス

問、編束物ノ紮帶ニハ如何ナルモノヲ用ユルヤ

答、通常鐵線ヲ用ヒ又蔓、軟キ柴、又ハ篠、割竹、綱繩等  
ヲ以テ代用ス

(下)問、胸牆ノ内斜面ヲ急ニスルハ何故ナルヤ

答、射撃ヲ便ニシ且ツ壕内ノ掩護ヲ確實ナラシメンカ爲ナ  
リ

(下)問、散兵壕構築中水ノ湧タルトキハ如何ニセハ可ナルヤ

答、適宜ニ壕ノ深サヲ減シテ巾ヲ増加シ或ハ内外兩側ニ壕

ヲ堀開シテ胸牆ヲ設ク

問、横牆ノ高サ、厚サ及長サ如何

答、高サハ通常胸牆ヨリ高カラシメス厚サハ火線ノ所ニテ

約一米突トス長サハ壕ノ全巾ヲ閉塞シ得ルヲ度トス

問、樹稗鹿砦ハ如何ナル處ニ用ユルヤ

答、火線前ノ死角 防禦工事間隙ノ閉塞、凹道及凹窪ノ阻

絶等ニ應用ス

(下)問、鐵條網ヲ敵方ヨリ認メラレサル處置如何

答、之ヲ設クルニ可成地物ヲ利用シ要スレハ遮蔽ヲ施シ或

ハ鐵線ノ光澤ヲ去リ杭ノ新シキ截面ヲ汚塗スル等ノ處置

ヲナス

對壕學ノ摘要

問、轅土對壕トハ如何ナルモノナルヤ

答、敵ノ堡壘ニ近接シ掩蔽シテ一步一步前進スル對壕ナリ

問、轅土對壕作業ニハ何兵種カ之ニ任スルヤ

答、工兵カ專ラ之ニ任シ必要アレハ歩兵モ助手トナルコト

アリ

問、轅土對壕作業手ハ如何ニ區分セラル、ヤ

答、頭部作業手ト堀擴部作業手トニ區分セラル

問、頭部作業手ノ作業方法如何

答、先頭ニアリテ跪キ短柄十字鍬ヲ以テ頭部ノ兩側下半部

ニ深サ約二十センチ乃至三十センチノ小溝ヲ穿チ其間ノ

土ヲ掘除シ土搔ヲ以テ脚間ヨリ後方ニ送致シ次ニ同法ヲ以テ上半部ヲ掘開ス

問、深對壕トハ如何ナルモノナルヤ

答、全ク掩体ヲ設ケス地下ヲ深ク掘リ其土ハ後方ニ搬送シ敵方ヨリ認メ難キ如ク構築スルモノナリ

問、進入並ニ作業間探照燈ノ類ヲ以テ照サレタル片ハ如何ニスルヤ

答、直ニ地上ニ伏臥シ照明中ニハ毫モ身體ヲ動サス

問、交通壕ノ掩護高ハ幾何カ

答、先ツ約一米突七十珊知ナリ

(下)問、夜間進入路ヲ標示スル爲メニ用井ラレタル標兵ハ何時撤去セラル、ヤ

答、拂曉迄存置ス但必要ナキニ至レハ命令ニ依テ撤セラレ

(下)問、夜間ノ經始ニハ如何ナルモノヲ用ユルヤ

答、火繩、夜光ペンキ、或ハ白色塗料ヲ施セル經始繩、白布ヲ附シタル經始繩等ナリ

(下)問、攻撃作業ノ重ナルモノハ何ナリヤ

答、攻撃障地及交通壕ノ築設ナリ

問、攻撃障地ハ一夜ニ如何ナル程度ノモノヲ構築スルヤ

答、堀擴散兵壕ヲ作ル事ヲ努メ若シ成シ得サルトキハ拂曉前ニ壕底廣キ立射散兵壕ヲ完成ス

問、轆土對壕ハ如何ナル場合ニ用ユルヤ

答、敵ニ近迫シ暴露作業ヲ許サ、ルニ至リ攻撃作業ヲ進メントスルトキ又ハ斷續シタル工事ヲ晝間連絡スルヲ要ス



ルキニ用フ

問、轅土單對壕ノ定規ハ何ノ爲メニ用フルヤ

答、壕ノ方向ヲ規正スルト作業ノ進捗ヲ測ル爲メ用ヒラル

(下)問、轅土對壕作業ニ於ケル班長ノ責任如何

答、作業ヲ迅速ニ進捗セシムル責任ヲ有シ壕ノ方向及其尺  
度ヲ規正ナラシメ掩体ヲ等齊ニ堆積スルヲ任トス

問、急速ニ轅土對壕ニ掩蓋ヲ設クル方法如何

答、兩崖徑上ニ丸太或ハ角材ヲ置キ其上ニ桁材或ハ軌條ヲ  
架シ更ニ之ト直角ニ束柴若クハ板一床ヲ置キ土ヲ以テ掩  
覆ス

### 軍路學ノ摘要

問、急造軍路ノ構築法如何

答、準線ノ兩側ニ路巾ヲ取リ其間ノ樹根又ハ凸出部ヲ除キテ

平ニシ尙時間アレハ凸形ヲ附シ下水溝ヲ作ル

問、下水溝ヲ作ル爲メニ出タル土ハ如何ニスルヤ

答、路面ニ置カス凡テ外側ニ投ケ棄ツ

問、道路ノ上ニ凸形(蒲鉾形)ヲ附ケルハ如何ナル理由カ

答、雨水ヲ善ク流シ之カ爲メ道路ヲ破壊セサラシメンカ爲  
ナリ

問、準線トハ何カ

答、道路ノ中央ヲ連ル線ヲ云フ

問、野砲ヲ通スル路幅ノ最小限如何

答、二米突五十珊知

問、徒涉場ノ水深ハ徒歩兵ノ爲メ幾何ヲ最大限トスルヤ

答、約八十珊知米突

(下)問、軌道ハ如何ナル部分ヨリ成ルヤ

答、1 路盤、2 床礎、3 枕木、4 軌條

問、軍用ニ用ユル電線ヲ大別スレハ何々カ

答、1 裸線 2 被覆線

問、最モ單簡ナル展望臺ハ如何ニシテ構築スルヤ(以下下士)

答、二個ノ梯子ヲ互ニ寄セ掛ケ要スレハ木稗ヲ以テ之ヲ支

ヘ綱或ハ鐵線ヲ以テ之ヲ控駐ス

問、野外ニ於テ電信及電話線ヲ遮斷スル單簡迅速ナル方法如

何

答、電柱(修繕ヲ困難ナラシムル爲メ隅角ヲ可トス)ヲ倒シ

碍子ヲ毀ケ鈍、鉄條鉄、或ハ鑪ヲ以テ電線ヲ截斷スルニ

アリ

問、車輛ヲ用ヒテ橋梁、村落ノ入口等ノ阻絶法如何

答、積載車輛ヲ對向接着セシメタル後車輪ヲ脫除スルニ在

リ

(下)問、徒涉場ヲ搜索スル方法如何

答、土民ニ質シ或ハ兩岸ノ車轍人馬ノ痕跡等ニ依ルヲ第一

トシ尙偵察者自ラ徒歩若クハ騎行通過ヲ試ムルヲ最モ確

實ナリトス

(下)問、野砲通過ノ爲メ路面ノ傾斜ハ如何

答、八分ノ一以下トシ直線部ニ於ケル短小ナル傾斜ニアリ

テハ四分ノ一トナスコヲ得

問、道路ノ補修中特ニ注意スヘキ件ハ何ナリヤ

答、路面ノ排水ナリ

架橋學ノ摘要

問、工兵ノ架橋材料ニハ如何ナル種類アリヤ

答、縦列材料ト應用材料トノ二種アリ

問、縦列材料ヲ用ヒテ架橋スルトキノ橋幅如何

答、二米突八十珊知

問、流速トハ如何ナル意味カ

答、一秒間ニ於ケル水ノ流レル速サナリ

問、橋上通過ノ際ハ何レヲ行進スルヤ

答、右側ヲ通行ス

問、鐵舟ニ乘リ込ムトキノ注意如何

答、最モ靜カニ乘リ込ムコトニ注意ス

問、應用材料ヲ以テ架橋スル橋梁ノ種類ハ何々カ

答、木舟橋、架柱橋、列柱橋ノ三種アリ

問、列柱ヲ打込ムニハ何ヲ用ユルカ

答、大槌、築頭(手用築頭)ヲ用フ

(下)問、補助渡河法ニハ如何ナル種類アルヤ

答、漕渡、繫留渡、滑綱渡、繰綱渡ノ四種アリ

問、操作舟組立テ方法如何

答、架柱ヲ置ク爲メ鐵舟ニ全形舟ヲ網桁ニテ結束シ作ル

(下)、上流ノ投錨班長トナリタルトキ最モ注意スヘキ件ハ何カ

答、舟ヲ橋頭ニ衝突セシメサルコトニ注意ス

突撃作業ノ摘要

(下)問、突撃作業トハ如何ナルコトヲナスモノナルヤ

答、障碍物及側防設備ヲ破壊シ壕ニ通過ノ設備ヲ行ヒ突撃

路ヲ開設スルモノナリ

(下)問、鐵條網及鹿砦ノ破壊法ノ種類ハ幾種アリヤ

答、器具ニ依ル破壊及爆薬ニ依ル破壊ノ二種アリ

問、壕ヲ通過スルニハ何ヲ用フルヤ

答、滑棒、梯子、携帶橋等ヲ用フ

問、手榴彈ハ大凡幾米突ヲ投擲シ得ルヤ

答、地形ト姿勢ニヨリ差アルモ約二十米突ナリ

問、突撃作業ハ何兵種之ヲ行フヤ

答、工兵獨特ノ作業ナリ

爆 破 學 ノ 摘 要

問、工兵用黄色薬ニ幾種類アリヤ

答、圓形ト方形ノ二種アリ

(下)問、黄色薬圓形方形一個ノ目方ハ幾何ナリヤ

答、圓形百グラム、方形二百グラムナリ

問、黄色薬ノ點火具ニハ何ヲ用フルヤ

答、ピツクフオール導火索ト雷管、或ハ白金線信管ト導電

線ナリ

問、木材ヲ爆破スルニ裝薬ノ方法ニ幾種アリヤ

答、外部ニ裝置スルモノト穿孔裝薬ノ二種アリ

問、爆破作業ハ最モ細心注意ヲ要スル理由如何

答、微細ナル不注意モ不發ニ終リ全軍ノ勝敗ニ關スルヲ以

テナリ

○輜重兵ノ部

輜重兵操典 (下士)

問、輜重兵ノ本領ヲ問フ

答、輜重兵ノ本領ハ戰役ノ全期ニ互リ間斷ナク且迅速ニ軍需品ノ輸送及補給ニ任スルニ在リ軍隊絶ヘス其戰鬥力ヲ維持シ其活動性ヲ保有スルト否トハ主トシテ輜重兵ノ行動如何ニ存スルモノトス

問、輜重兵ノ軍紀ハ特ニ其振肅ヲ圖ラサルヘカラサル理由ヲ述

ヘヨ

答、抑々戰時ニ於ケル輜重ノ大部分ハ勞苦及規律ノ慣習ヲ氷ヒタル在郷者ト調教完全ナラサル徵發馬トヨリ成ルヲ以テ

其指揮統御共ニ頗ル困難ナルヲ免レス之ヲ律シテ能ク其行動ヲ正確ナラシメ且困苦缺乏ニ處シテ益々奮勵努力セシムル所以ノモノ一ニ軍紀ノ張弛如何ニ存シ其張弛ハ直ニ輜重機能ノ消長ヲ致シ延テ軍ノ運命ニ關スルモノトス

問、幹部ハ部下ノ愛馬心ヲ興起セシムル爲ニ如何ナル考慮ヲ要スルヤ

答、幹部ハ常ニ部下ヲシテ馬ノ愛護ニ力ヲ盡シ必要ニ際シ十分ナル活動力ヲ發揮セシメサルヘカラス行軍連日ニ互ルトキハ馬ノ保育動モスレハ疎漏ニ流レ易キヲ以テ之ニ注意スルヲ要ス而シテ兵卒ノ愛馬心ヲ興起シ保護ノ責任ヲ明ニスル爲總テ同一ノ兵卒ニハ同一ノ馬ヲ屬シ已ムヲ得サル場合ニアラサレハ交換ヲ爲サ、ルモノトス又故ナクシテ車馬ノ

積載量ヲ規定外ニ増加セシムヘカラス

問、小行李彈藥ヲ迅速敏活ニ步兵大隊ニ補充スル爲幹部ノ注意如何

答、彈藥補充ノ良否ハ戦闘ノ勝敗ニ至大ノ關係ヲ有スルヲ以テ戦闘間步兵大隊ノ小行李ハ其行動ヲ敏活ニシ所屬隊ノ進退ニ注意シ之ト確實ニ連絡シ常ニ彈藥ヲ交付スルノ準備ヲ怠ルヘカラス

問、開豁セル地形ニ於テ敵ノ砲兵火ニ暴露セル場合ノ小行李ノ前進法ヲ述ヘヨ

答、通常二個ノ縦隊ニ分チ縦隊毎ニ逐次通過スルカ或ハ大ナル間隔ニ縦隊ヲ併列シタル隊形ト爲シテ前進スルヲ可トス而シテ二個ノ縦隊ニ區分セハ各縦隊ハ次級監視員ノ指揮下

ニ在ラシムルモノトス

問、戦備行軍ニ在テハ各部隊ノ大行李ハ如何ナル位置ニ在テ行軍スヘキヤ

答、各部隊ノ大行李ハ合シテ一團トナリ將校(之ヲ大行李長ト稱ス)ノ指揮ニ屬シ本隊ノ後方約二千米ニ在テ行進ス

問、大行李高級監視員分進ノ命令ヲ受領セハ如何ニ處置スルヤ

答、高級監視員分進ノ命令ヲ受領セハ直ニ部下ヲ引卒シテ宿營地ニ到リ要スレハ自ラ先行シ所屬隊ニ就キ積載品卸下地車廠、馬繫場及宿舍ヲ承知シタル後先ツ積載品卸下地ヲ實施シ尙之ニ到ルヘキ道路ヲ選定シ然ル後大行李ヲ宿營地ニ進入セシメ積載品ヲ卸下シ車廠ヲ作り馬繫ヲ爲サシム而テ車廠、馬繫場ハ積載品ヲ卸下シツ、アルノ間高級監視員自

ラ之ヲ實施スルヲ例トス然レ共場合ニ依リ積載品卸下地ト

共ニ車廠、馬繫場ヲモ併セテ實施スルヲ便トスルコトアリ

問、糧食縦列ノ糧秣ヲ軍隊ニ補給スルニハ如何ナル順序ニ依ルヤ

答、糧食縦列其糧秣ヲ軍隊ニ補給スルニハ之ヲ糧秣ノ主任官ニ交付シ該官ヨリ軍隊ニ分配スルヲ例トス然レトモ特別ノ場合ニハ縦列ノ一部ヲ以テ直接軍隊ニ糧秣ヲ交付スルコトアリ

問、彈藥縦列糧食縦列ハ如何ナル宿營法ヲ用ユヘキヤ

答、縦列ノ宿營ニハ舍營若クハ村落露營ヲ用ヒ寒陬僻地ニシテ使用スヘキ村落ナキトキ或ハ其他ノ原因ニテ己ムヲ得サルトキノミ露營スルモノトス

問、大行李縦列ニ對スル敵襲ハ通常如何ナル者ヨリ受クルヤ又其不慮ノ危害ヲ豫防スル方法如何

答、大行李縦列ニ對スル敵襲ハ通常騎兵又ハ義勇兵ヨリ受クルモノトス故ニ絶エス敵情ヲ搜索シ併セテ土民ノ向背ニ注意シ豫メ不慮ノ危害ヲ避クルニ勉メサルヘカラス

問、大行李縦列ヨリ出ス斥候ノ數及人員ハ如何ナル考慮ヲ以テ定ムルヤ

答、斥候ノ數及其人員ハ成ルヘク之ヲ制限スルヲ要ス是斥候ニ用ル人員ハ多クハ幹部ナルヲ以テ大行李縦列ノ行動ニ支障ヲ生セサル範圍内ニ於テ出スヲ要スレハナリ

問、自衛戦闘ノ目的及其要領

答、自衛隊ノ戦闘ハ敵ヲ拒止シ大行李縦列ヲシテ危険ヲ避ク

ルノ餘裕ヲ得セシムルヲ以テ目的トス故ニ狀況之ヲ要スレハ多大ノ損害ヲ顧ミス堅忍能ク其位置ヲ固守セサルヘカラス然レトモ亦場合ニ依リテハ勇猛果敢ニ動作シテ敵ヲ擊退スルコトヲ圖ルヘシ而シテ軍紀ノ嚴肅、志氣ノ旺盛各人ノ沈著ト機敏ナル動作並地形ノ利用ハ自衛隊ノ戦闘ニ多大ノ効力ヲ與フルモノトス

### 輜重兵操典 (兵卒)

問、輜重兵ノ活動ハ軍隊ノ戰鬥力及活動性ニ如何ナル關係ヲ及ホスヤ

答、軍隊ノ戰鬥力、及活動性ハ彈藥、糧秣其他ノ軍需品ノ正確迅速ナル輸送ニ依リテ維持増進セラル、モノナリ故ニ行李縦列ハ常ニ人馬材料ヲ整備シテ十分ナル活動力ヲ保有シ



時機ヲ失セス軍ノ需用ヲ充スコトヲ期スヘシ

問、行軍間小行李ノ區分及其位置如何

答、小行李ハ行軍間之ヲ若干班ニ區分シ(各班間ニ四歩ノ距離ヲ置ク)通常所屬隊ノ後方十六歩ニ在リテ之ニ跟随スルモノトス

問、歩兵大隊開進セハ小行李ハ如何ナル地點ニ位置スヘキヤ

答、歩兵大隊開進セハ小行李ハ通常横隊トナリ大隊ノ左翼後

十六歩ニ位置スルモノトス

問、小行李敵火ニ暴露シテ停止スルトキハ部下ニハ如何ナル姿

勢ヲ取ラシムルヤ

答、成ルヘク輸卒ヲシテ低キ姿勢ヲ取ラシメ馬ヲ敵方ニ向ケ

テ位置セシムルヲ可トス

問、小行李ノ輸卒ヲ以テ散兵線ニ彈藥ヲ交付セル後歸還スルニ

方リテハ如何ナル注意ヲ要スルヤ

答、火線ヨリ歸還スルニ方リ監視員ハ散兵ヲシテ誤解セシム

ルカ如キ言語例ヘハ「後ヘ」ノ號令等ヲ用ユヘカラス

問、彈藥縦列及糧食縦列ノ宿營地ハ何ヲ主眼トシテ選定スヘキ

ヤ

答、通常馬繫場ヲ主眼トシテ選定スルヲ要ス

問、馬繫場トシテ森林ヲ用ルトキハ如何ナル處ヲ選定スルヤ

答、馬繫場トシテ用ユヘキ森林ハ地面平坦ニシテ乾燥シ樹木

ノ切株等馬體ヲ傷クルモノナキヲ要ス而シテ樹木ノ上方ハ

枝葉繁茂シ其下方ハ疎開シ幹ノ徑約十珊米ナルトキハ最モ

可ナリトス

問、適當ナル森林ナキトキハ如何ニシテ馬繫場ヲ設クルヤ

答、乾燥平坦ノ廣地ニ繫馬杭及繫馬索ヲ用井テ馬繫場ヲ設備スヘシ

問、飲馬水良否ノ標準ヲ問フ

答、清潔ナル河水ヲ第一トシ井泉之ニ次キ沼澤ノ死水ハ己ム

ヲ得サルトキノミ之ヲ用ヒ海水ハ決シテ用フヘカラス

問、「自衛隊集レ」ノ號令ニテ分隊長及輸卒ノ動作ヲ述ヘヨ

答、偶數分隊長(下馬シ馬ヲ最近ノ馭卒ニ交付シタル後)及各豫備卒ハ駈歩ヲ以テ小

隊長ノ許ニ到リ豫備卒ハ横隊ニ集合シ立銃ヲ爲ス偶數分隊

長ヨリ馬ヲ交付セラレタル馭卒ハ己ノ輓馬ノ外分隊長ノ馬

ヲ保持ス奇數分隊長ハ己ノ次位ニ在ル分隊ヲ併セ指揮ス

輜重兵操典 (輸卒)

問、車輛及馭馬ノ行進シ得ル道路ヲ述ヘヨ

答、車輛ハ通常路幅約一米七十以上傾斜約六分一以下ノ道路

ヲ行進シ得馭馬ハ概テ諸般ノ道路ヲ行進シ得ルモノトス

問、陣中勤務ニ於テ小行李馭馬馭卒ノ休止ノ際爲スヘキ要件如何

答、馬ノ状態特ニ蹄鐵ヲ検査シ負傷若クハ疾病ノ徵候アルカ

釘節ノ異狀又ハ落鐵アルトキハ速ニ監視員ニ報告スルコト

馬裝及積載ノ状態ヲ検査シ適當ナラサルモノハ直ニ之ヲ修

正シ以テ馬ノ疲勞負傷等ヲ豫防スルコト

問、小行李ノ輸卒ヲ以テ散兵線ニ彈藥ヲ交付セントスルトキハ

輸卒ハ如何ナル決心ヲ以テ從事スルヤ

答、敵火ノ危險ヲ顧ミス勇往邁進火線ニ到リ彈藥ヲ交付ス

問、大行李縦列ノ行進間輸卒カ車輛ニ就テ注意スヘキ件ヲ述ヘ

答、常ニ車輛ノ状態ニ注意シ轂内ニ於ケル脂油ノ缺乏又ハ螺

稗木部ノ弛ミ等ニ依ル音響ヲ耳ニシ或ハ車輪ノ轉動ニ異狀

アルヲ認ムルキハ監視員分隊長ニ報告シ所要ノ處置ヲ爲ス

問、小苗ノ譜、長聲一回、長聲二回、長聲三回、短聲四回ハ各

如何ナルコトヲ意味スルヤ

答、號令若クハ命令ノ代リニ小笛ヲ用ユ其譜左ノ如シ

注意 長聲一回

前進 長聲二回

停止 長聲三回

休憩 短聲四回

問、馬繫場ニ於テ馬體検査ニ就キ實施スヘキ件ヲ述ヘヨ

答、馬ヲ検査シ釘節ノ異狀、落鐵蹄熱或ハ負傷、疾病ノ徴候

アルトキハ速カニ分隊長(監視員)ニ報告ス

問、馬繫場ニ於テ馬ノ手入ニ就キ實施スヘキ件ヲ述ヘヨ

答、馬ノ手入ハ成ルヘク丁寧ニ行ヒ時間少キ場合ニ在リテモ

四肢、背、胸及帶徑ハ藁等ヲ以テ十分ニ摩擦スルコト

問、車廠ニ於ケル豫備卒ノ任務如何

答、豫備卒ハ通常車輛ノ手入積載ノ修正ニ任スルモノトス

問、車廠ニ於ケル豫備卒ノ車輛手入要領ヲ問フ

答、車輛ノ手入ハ時間ノ長短ニ依リ斟酌スヘシト雖轂内及軸

臂等ノ要領ハ丁寧ニ淨拭シ然ル後適當ニ塗脂シ行進ニ支障

ナカラシムヘシ若シ破損等アレハ分隊長(監視員)ニ報告ス

ルヲ要ス

問、車陣ハ如何ナル場合ニ作ルヤ

答、行軍間大行李縦列敵ノ奇襲ヲ受ケ已ムヲ得サルトキハ車陣ヲ作り之ニ據リ全力ヲ盡シテ防禦ス

馬學

問、馬ノ手入ハ何ノ爲ニ行フヤ

答、手入ハ馬體ノ垢ヲ去リ皮膚ノ機能ヲ進メ疲勞ヲ醫シ榮養ヲ助クル爲ニ行フモノトス

問、馬ノ堅肥ニシテ毛ニ光澤アルハ如何ナル徵候ナルヤ

答、飼方ト勞働トノ調和ヲ得且ツ手入良好ナル徵候トス

問、勞働後ノ馬ノ手入法如何

答、勞働後ハ藁束又ハ揉藁ニテ四肢及蹄ヲ擦リ次ニ鞍ヲ卸シ鞍下、帶徑其他發汗甚キ部分ヲ能ク乾クマテ擦リ手入終レ

ハ水ヲ與フヘシ

問、馬ノ激動後水飼ニ就キ注意スヘキ件如何

答、激動後ニハ直ニ水飼ヲ行フヘカラス若シ已ムヲ得サルトキハ先ツ口ヲ洗ヒ冷ナラサル水ヲ選ミ之ニ干草等ヲ浮ヘ徐ニ飲マシムルヲ可トス

問、馬ニ水ヲ飲マシムルハ飼與前後何レヲ可トスルヤ

答、飼與前ニ行フヲ要ス之レ體肉胃液及唾液粘稠ノ度ヲ中和シ食慾ヲ催サシムルノ効アレハナリ

問、疝痛ノ徵ヲ述ヘヨ

答、前肢ニテ地ヲ叩キ腹ヲ見テハ幾度モ伏臥セントシ又甚シキハ展轉仰臥シテ呻吟シ食飼ヲ與フルモ願ミス之レ疝痛ノ徵ナリ

問、疝痛ノ救急法如何

答、伏臥セシメスシテ藁ヲ以テ腹部ヲ充分ニ摩擦シ毛布ヲ着セシメ牽運動ヲ行フヲ可トス

問、蹄葉炎ノ症狀及救急法如何

答、蹄ニ熱ヲ持チ稍々重症ノモノハ跛行ヲ爲シ歩行ニ堪ヘサルニ至ルコトアリ是レ蹄葉炎ノ徵ナリ其救急法ハ直ニ蹄ヲ冷却シ要スレハ其蹄鐵ヲ除去スルニ在リ

問、馬ノ食慾不進ノ時ハ如何ナル方法ヲ執ルヤ

答、青草又ハ笹葉ヲ細切シ少量ノ食鹽ヲ混シ練飼ト爲シ與フヘシ

問、米、麥等ノ濃厚飼料ヲ定量以上ニ與フルトキハ如何ナル害アルヤ

答、定量ヲ超過スルトキハ消化器ヲ害シ疝痛ヲ起シ又ハ蹄葉炎ヲ發生ス

問、平時ニ於ケル輜重兵乘馬及輓駄馬ノ馬糧ノ日量如何

答、乘馬(第二種馬)大麥一貫匁、秣一貫匁、藁一貫匁、輓馬(第四種馬)大麥一貫匁、秣一貫匁、藁一貫匁、但大麥ニ換フルニ燕麥ヲ以テスルコトアリ

問、蹄鐵ノ改装期如何

答、四週乃至六週トス

問、行軍中落鐵シタルトキノ處置如何

答、若シ改装シ能ハサルトキハ臨時藁沓ヲ代用シ蹄ヲ潰裂セシメサルコトニ深ク注意スヘシ、之カ爲乘馬ニ在リテハ下馬シテ牽馬ヲ爲シ輓駄馬ニ在リテハ積載品ヲ他ニ移ス等臨

機ノ手段ヲ執ルヘシ

梱包積載教範

問、梱包積載ノ目的如何

答、兵器物品ノ取扱ヲ便ニシ其輸送ヲ容易ナラシメンカ爲ナ  
リ

問、一駄馬一車輛ノ積載量如何

答、駄馬ハ二十五貫匁、車輛ハ五十貫匁ヲ基準トス

問、駄載ニ在リテ積載品ノ右荷、左荷ニ重量ノ差異ヲ生シタル

時ノ所置如何

答、輕キ方ヲ重キ方ヨリ荷物ノ位置ヲ低クシ或ハ輕キ方ニ附  
載品(馬糞囊、馬手入具、飼養具、雨覆)等ヲ載セ之ニ加量スルノ手段ヲ採ル

問、車輛ニ定量ヲ積載シタル時轆木端ノ重量如何

答、約四貫匁ヲ標準トス

## ○經理部ノ部

### 陸軍經理摘要

問、戰時留守宅渡ヲナシ得ルモノ如何

答、戰時編制ノ部隊若クハ特ニ設置セラレタル部隊ニ屬スル  
軍人軍屬ノ俸給給料及宅料ノ全額又ハ幾分

問、召集旅費ハ何處ニ於テ支給スルヤ

答、通常部隊到着後該部隊ニ於テ支給スルモ前金渡ヲ爲スニ  
非レハ召集ニ應シ難キモノハ市町村ニ於テ繰替拂ヲナス

問、入札保證金契約保證金ノ保管方法如何

答、入札保證金ハ一時的ノモノニ付金庫ニ寄託セス單ニ取扱  
官廳ノ取扱主任者之ヲ保管シ置キ用済ノ後返戻ス

契約保證金ハ之ヲ金庫ニ寄託シ取扱官廳ニテハ其金庫ノ保管證書ヲ徴シ置キ用濟ノ後之ニ裏書シテ金庫ヨリ返戻セシム

問、營内居住ノ下士營外居住ニ轉スル時被服ノ給與法如何

答、從來所持品中最新ノ被服一揃ヲ給ス

問、現金前渡ヲ受ケタル官吏ノ仕拂計算書提出後過誤拂、不足拂ヲ發見シタル時右計算期日ヲ修正變更シ得ルヤ

答、會計規則ニ禁シアリ修正變更ヲ許サス

問、然ラハ如何ニシテ整理スルヤ

答、自覺報告表(科目、金額、事由等ヲ記入セルモノナリ)ヲ作り仕拂命令官ヲ經テ會計検査院ニ提出スレハ可ナリ

問、戰時委任經理ヲ爲シ得ヘキ部隊アリヤ

答、委任經理ヲナシ得ヘキ部隊アリ即チ留守部隊、内地特設部隊、衛戍勤務ニ服スル後備隊及國民歩兵隊、内地要塞部隊、但シ糧食ニ限ル

問、現役中營外居住タリシ下士豫備役トナリ戰時召集ニ應シタル時營外者トシテ取扱フヤ

答、豫備役下士以下ニシテ召集ニ應シタルモノハ總テ營内居住トス故ニ營内者トシテ取扱フ

問、臨時軍事費ノ仕拂命令官ハ誰ナルヤ

答、會計監督部長ナリ

問、主任現金前渡官吏及分任現金前渡官吏ハ誰ナルヤ

答、主任現金前渡官吏ハ臨時陸軍中央金櫃部長分任現金前渡官吏ハ主任現金前渡官吏ヨリ直接前渡金ヲ受領シ取扱フ官



吏ナリ

問、野戰軍ノ各隊ニ於ケル所要ノ金額ハ何レニ請求シ何レヨリ受領スルヤ

答、各部隊長ヨリ當該經理部ニ請求シ當該經理部分任現金前渡官吏ヨリ受領ス

問、金櫃ノ管守方法ハ誰カ定ムルヤ

答、當該部隊長之ヲ定ム

問、加俸ノ種類如何

答、隊長加俸、上級職務心得勤加俸、在勤加俸駐在手當、技術加俸、憲兵通譯加俸、特別増俸ノ七種以上准士官以上諸加俸

在勤加俸、技術加俸、憲兵加俸、外泊加俸、在隊加俸、通

譯加俸、駐劄手當、特別増給ノ八種以上下士卒諸加俸

問、埋葬料ハ如何ナルモノニ給スルヤ

答、戰時ニ於テハ軍人軍屬死亡シタル時、平時ニ於テハ營内居住ノ下士以下又ハ召集中ノ下士卒死亡シタル時

○衛生部ノ部

(下士)

問、創傷傳染病ノ豫防法ヲ述ヘヨ

答、手ヲ創ニ觸ル、コトナク繃帶ヲ交換スル時モ又創ニ觸ル  
ヘカラス、留彈ハ探ルヲ要セス、消息子ヲ創ニ入ル、コト  
勿レ、血漬創ニ凝リ附キ居ルトモ拭フヘカラス、創ヲ汚シ  
居ル不潔物多キ時ハ防腐液ヲ用ヒテ洗フヲ要ス

問、大出血後患者ノ虚脱若クハ昏睡ニ陥リタル時ノ處置如何

答、頭ヲ低ク下肢ヲ高ク臥サシメ血液ヲ腦及心臟ニ送ルコト  
ヲ謀ルヘシ

問、四肢ノ動物性毒創處置如何

答、傷肢ヲ創ノ上ニテ布片、紐帶等ヲ以テ緩ク縛リ棒ヲ帶ノ下ニ挿シテ廻シ強ク緊約シ然ル後毒ヲ除ク爲創部ニ吸角ヲ貼ス、吸角ナキ時ハ創部ヲ燒キ若クハ藥劑ニテ腐蝕ス

問、井、窖中ニ於ケル窒息者ヲ救ヒ出ス時ノ注意ヲ述ヘヨ

答、布片傘等ヲ振り動カシ有害氣流ヲ除キ救助ノ爲之レニ入ルニハ醋ニ浸シタル布片又ハ海綿ヲ口ニ當テ救助索、信號索ヲ身體ニ結ヒ付ケ入ルヘシ

問、脱臼ノ徴候如何

- 答、一、關節痛ミ運動障害セラレ若クハ廢ス
- 二、肢ノ位置及方向變ル
- 三、肢延ヒ或ハ縮ム
- 四、關節ノ形チ變ル

問、肺結核ハ如何ニシテ傳染スルヤ

答、患者ハ談話、咳嗽ノ時病芽ヲ含メル細ナル痰ノ點滴ヲ飛散セシム又痰ノ乾キテ塵トナリ空氣中ニ浮游スルコトアリ故ニ感染ハ呼吸器ヨリスルコト多シ

問、熱ノ種類ヲ擧ケ且説明セヨ

- 答、(イ) 稽留熱 日差一度以内ノモノ
- (ロ) 弛強熱 日差一度以上ノモノ
- (ハ) 間歇熱 高キ熱發作アルモ最低ハ平温又ハ平温以下ニ下ル時アルモノ

問、呼吸困難ナル患者ノ臥位ハ如何ニスヘキヤ

答、上身下ニ枕等ヲ挿ミテ半坐位ヲ取ラシム

問、衰弱患者ニシテ自カラ起クルコト、困難ナル患者ニハ如何

ナル装置ヲ與フルヤ

答、天井ヨリ垂レタル繩若クハ寢臺ノ足端ニ結ヘル繩ニ横木ヲ縛リ之ヲ握リテ體ヲ擡ケ得ルヤウニスルヲ可トス

問、褥瘡ハ如何ナル場合ニ發生スルヤ

答、重症者久シク臥シ居リテ衰弱シ動作自由ナラサル時體ノ一部ニ壓ヲ受ケ褥瘡ヲ發ス

問、揮發生吸入藥服用法ヲ述ヘヨ

答、其二、三滴ヲ壓巾手巾掌ニ滴シテ鼻及口ノ前ニ持チ行キ其位置ニテ吸入セシム

問、水蛭ヲ貼スルノ方法ヲ説明セヨ

答、布片ニテ蛭ノ後身ヲ包ミテ撮ミ口ヲ皮膚ニ接ス又試験管若クハ卷厚紙ノ管ニ入レ貼ス一ヶ所ニ多ク貼スルニハ蛭ノ

體ヲ日本紙ニ載セ又ハ小瓶若クハ小サキ硝子盞ニ入レ其部ヲ蓋ヒ置クヘシ

問、喝病ハ初メ如何ナル症候ヲ呈スルヤ

答、顔赤ク汗多量ニ出テ頭熱シ頭痛ヲ起シ舌乾キ胸苦シキ身體倦怠アリテ歩行蹣跚眩暈ヲ來シ應答不確實ナリ

問、止血法ニ幾種類アリヤ

答、指ニテ壓スル法、繃帶三角巾等ヲ用フルモノ止血帶ニテ締ル法、其他之レニ類似スルモノニテ止血スル

法及血管ヲ縫合スル法等アリ

問、隊繃帶所ハ何處ニ設クルモノナルヤ又誰カ之ヲ開設スルヤ

答、戰線ノ後方ニシテ戰線ト繃帶所トノ間ニアリテ隊附軍醫之ヲ開設ス

問、戰時ニ設クル各病院ノ名ヲ舉ケヨ

答、野戰病院、戰地定立病院(野戰豫備院)舍營病院、兵站病院、豫備病院

問、隊紮帶所ノ位置撰定要領如何

答、可成敵火ヲ避ケ得ル地ニシテ戰線ニ近接シ藁掩蔽物及他ノ補助材料ヲ得易ク又患者運搬材料ヲ得易キ處ニシテ又前方後方共ニ交通良キ地ナルヲ要ス

問、宿營地ニ先發セシメラレタル時主ニ何ヲナスヤ

答、宿營地ノ水及清潔法ノ良否傳染病其他惡疫ノ有無等ニ注意ス

問、夏季行軍中小休止ノ場合如何ナルコトヲ兵員ニ注意スルヤ

答、頭、胸、足部ニ通氣スルコト、靴及靴下ニ注意スルコト

水筒ニ湯茶ノ補充ヲナスコト

(兵 卒)

問、創傷傳染病ノ主ナル名稱ヲ舉ケヨ

答、化膿性炎、淋巴管炎、淋巴腺炎、破傷風、丹毒、狂犬病、脾脫疽、馬鼻疽等ナリ

問、指ノ尖端ヨリ出血甚タシキ時ノ簡單ナル止血法如何

答、指ノ根ノ兩側ニ血ノ管アリ之ヲ指ノ骨ニ向テ壓スレハ止血ス

問、毛細管及稍大ナル靜脈出血ノ止血法如何

答、創部ヲ高ク擧ケ(四肢ナラハ豎テ)壓紮帶ヲ施スヘシ、但靜脈出血ナルトキハ綿紗ヲ固定スル疊ミ三角巾若ハ卷軸帶ヲ弛ク纏ヒテ壓スヘシ

問、大血管ノ傷キタル患者ヲ輸送スル時ノ注意ヲ述ヘヨ

答、成ルヘク振動ヲ避ケヘシ又護送者ハ絶ヘス創部ニ注意スルヲ要ス運搬ニハ擔架ヲ用ユルヲ宜シトス

問、骨折ノ徴候如何

答、(イ)傷肢ノ運動廢レ運動時限局性ノ劇シキ痛アリ

(ロ)骨折端ノ齟齬アルヲ以テ骨折部ノ膨大傷肢ノ變形及短縮アリ

(ハ)傷肢ノ關節ナキ處ノ運動ヲ生ス

(ニ)骨折端ノ軌轢音ヲ手ニ觸ル

問、溺水者ノ處置ヲ簡單ニ述ヘヨ

答、布片ニテ口、咽ノ泥土ヲ撈ヒ腹ヲ我膝ニ當テ俯サシメ掌ヲ溺者ノ額ニ當テ首ヲ反ラセ背ヲ打チ水ヲ吐カシムヘシ要

スレハ人工呼吸法ヲ行フ

問、火傷ノ度ヲ願チ説明セヨ

答、第一度ハ皮赤クナリ痛ムモノ

第二度ハ淡黄ナル液ヲ含ル疱ヲ形ツクリテ痛ムモノ

第三度ハ體ノ一部壞死シテ感覺ヲ失ヒ其周圍痛ムモノ

問、傳染病毒ハ何レニ在リヤ

答、患者ノ痰、鼻汁、小便、大便、吐物、膿、乳汁、血液等ノ中ニアリ

問、急性傳染病ノ初期ハ多クハ如何ナル症狀ヲ呈スルヤ

答、惡寒ヲ以テ急ニ体温上昇シ甚タシキ時ハ體戰ヒテ齒ノ根合ハス呼吸、脈ノ數加ハリ口乾ク

問、褥瘡豫防ニ於ケル看護上ノ注意如何

答、臥位ヲ數々變セシメ度々藁布團ヲ整頓シ敷布病衣ノ襪ヲ延へ稍大ナル異物、敷布ノ縫目等皮膚ヲ壓スルモノアル時ハ除キ体ヲ清潔ニ保ツヘシ

問、患者ノ好マサル藥ヲ確實ニ飲ミタルヤ否ヲ知ルノ方法如何

答、眼前ニ於テ服用セシメタル後談話スヘシ

問、大人ノ脈膊・呼吸ハ一分間何回ナリヤ

答、一分間ニ脈膊ハ六十乃至八十、平均七十二、呼吸ハ十五乃至十八トス

問、創傷ニ消毒セサル手指又ハ布片ヲ觸ル、トキハ如何ナル害アリヤ

答、不消毒ノ手指及消毒セサル布片ハ病原菌

問、靴傷ハ如何ニ豫防スルヤ

答、足ヲ清潔ニシ爪ヲ短クシ靴足袋ヲ清潔ニシ縫目ヲ直接足

ニ當ラサル様ニシ行軍中時々靴ニ風ヲ入レ又足ヲ洗ヒ靴下

ノ皺壁ヲ造ラサル様注意シ又靴傷豫防膏アレハ之ヲ塗り置

ク最モ必要ナルハ靴ノ穿方ニ注意シ靴ノ手入ヲ良クスルコ

ト

問、一等症トハ如何ナル患者ヲ云フカ

答、戦闘ノ爲負傷シタルモノ公務ノ爲メ傷痍疾病ニ罹リタル

モノ戰地若クハ公務旅行中ニ流行病ニ罹リタルモノ及以上

ノモノ治癒後再發シタルモノヲ云フ

問、行軍中ノ患者等差ヲ別チ幾種アリヤ

答、一等患者、二等患者、三等患者ノ三種類アリ

問、一等患者トハ如何ナルモノヲ云フカ

答、步行又ハ乗馬ニ堪ヘサルモノヲ云フ

問、劇毒藥ノ鍵ハ何人カ保管スルヤ

答、軍醫若クハ看護長ニテ保管ス

問、夏季行軍時湯茶補充ニ注意スル理由如何

答、日射病熱中病ヲ豫防スル爲ナリ

問、冬季行軍ニ於テ最モ恐ルヘキ疾病如何

答、凍死凍傷ナリ

問、補助擔架卒ハ如何ナル標示ヲ腕ニ付クルカ又赤十字條約ニ

ヨリ通常ノ衛生部員ト同シク保護セララル、ヤ

答、白布(舊ハ赤布)ヲ右腕ニ巻ク又赤十字條約ニヨリ保護セ

レス

問、夏季行軍時飲酒セサル時ハ如何ナル利アリヤ

答、日射病熱中病即チ喝病ヲ豫防シ又疲勞チ早ク來タサス過

度ニ水ヲ貪ルコトナク又下痢ヲ發セサル等ノ利アリ



陣中要務令

(歩兵下士)

問、敵狀ニ關スル報告記載方ノ要領ヲ述ヘヨ

答、報告ヲ記スルニハ報告者自カラ目撃セシコト、他人ノ實見セシコト、他人ノ聞知セシコト、又推測ニ係ルコト、チ判然區別スルコト而シテ推測ニ出ツルモノハ其理由ヲ記載スルヲ可トス

報告ニハ兵種員數、時刻先頭或ハ後尾等ノ位置及動作ヲ記スルコト肝要ナリ、又單ニ優勢ナル敵兵或ハ大縦隊ト記シ若クハ之ニ類以セル漠然タル語句ヲ避クルヲ要ス  
例ヘハ歩兵幾人若クハ幾隊、砲幾門ト記載シ又何時何地ヲ何方面ニ行進スル敵ノ縦隊ヲ見シト云フコト殊ニ何時何地

ニ其ノ隊ノ先頭若クハ後尾ヲ見タリト云フカ如キヲ記スル  
コト最モ緊要ナリ

問、遞傳哨遞歩哨ハ如何ナル場合ニ用ユルヤ其ノ動作並各哨所

間ノ距離ニ就テ説明セヨ

答、距離遠大ナル兩地間ニ通信頻繁ニシテ而カモ電信、電話  
等ノ通信確實ナラサルハ騎兵、自轉車若クハ自働車ヲ以テ  
遞傳哨ヲ設ク又地勢車輛及騎兵ノ使用ニ適セサル時ニ於テ  
ハ遞歩哨ヲ用フ

遞騎哨、遞歩哨ハ通常長下士兵卒三人乃至六人、遞自轉車  
哨ニ在リテハ三人以上トス、但シ命令、通報、報告ノ傳送  
ヲナスモノトス、其哨所間ノ距離ハ遞歩哨ニアリテハ約二  
乃至四吉米、遞自轉車哨ニアリテハ約二十乃至三十吉米ヲ

適當トス

問、行軍力ノ保持法ニ就テ述ヘヨ

答、行軍軍紀ヲ嚴守シ被服、裝具、給養、衛生ニ就テ幹部及  
兵卒ノ注意ヲ密ニスルトキハ行軍力ヲ保持スルノミナラス  
更ニ之ヲ増大スルコトヲ得ルモノトス

問、行軍縱隊ニ於ケル歩兵中隊、大隊、聯隊間ノ距離如何

答、中隊後ニ十歩、大隊後ニ二十歩、聯隊後ニ三十歩ヲ存ス

ルモノトス

問、外衛兵ノ任務ニ就テ述ヘヨ

答、舍營、村落露營及露營ニ於テ敵兵近傍ニ在リテ各々直接  
ノ警戒ヲ要スルトキ宿營地ノ出口及外圍或ハ外方ニ在ル要  
點ニ複哨若クハ下士哨ヲ出シテ警戒スルヲ任トス

問、露營中警報アリタルトキハ歩兵ハ如何ニ動作スルヤ

答、各自速ニ背囊ヲ負ヒ又銃線ニ集合ス

問、行李ノ區分及其ノ携行物品ヲ述ヘヨ

答、行李ハ敵ニ觸接スヘキ虞アルトキハ之レヲ小行李及ヒ大行李ニ分ツ小行李ハ軍隊戰鬥間必要ノ物品ニシテ副馬、衛生、材料、彈藥、歩兵器具、工兵隊器材、通信器材、豫備車輛、豫備輓駄馬ヨリ成リ大行李ハ軍隊宿營間必要ノ物品ニシテ騎兵破壞器具、工兵隊器材、金櫃、荷物、炊具、糧秣、野戰職工具、豫備蹄鐵、豫備被服、豫備車、豫備馬ヨリ成ル

問、前衛ノ區分ヲ述ヘヨ

答、前衛騎兵、前兵、前衛本隊ニ分ツ但前兵ヨリハ更ニ尖兵

ヲ出シ又大ナル前兵ニアリテハ之ヨリ更ニ尖兵中隊ヲ出ス  
問、前哨ノ區分ヲ述ヘヨ

答、前哨本隊、前哨中隊、ニ分ツ但前哨中隊ヨリハ更ニ小哨ヲ出シ小哨ヨリハ歩哨若クハ下士哨ヲ出シ又前哨本隊或ハ更ニ其後方ノ部隊ヨリ小哨ヲ出スコトアリ

問、前哨ノ任務ヲ述ヘヨ

答、休止ノ軍隊ヲ警戒スルヲ以テ任トス

問、行軍警戒隊ノ任務ヲ述ヘヨ

答、敵ノ攻撃ニ對シ本隊ニ動作ノ自由ヲ得セシメ且ツ其行進ヲシテ澁滞ナカラシムルニ在リ

問、露營中警報アリタルトキ内衛兵ハ如何ニ動作スルヤ

答、軍隊ノ遺セシ材料ヲ監視シ軍隊突然出發シタル時ハ其ノ

材料ノ運搬準備整ヒタル後始メテ軍隊ニ追及ス

問、徒歩傳令使ノ行進速度ヲ説明セヨ

答、並ハ速歩ヲ用ヒ一時間約五吉米

急ハ駈歩ト速歩トヲ混用シ一時間約六吉米

至急ハ唯近距離ニノミ用ユルモノニシテ脚力ノ耐フルニ

應シ駈歩ス

(步兵兵卒)

問、復哨及下士哨ノ人員ヲ述ヘヨ

答、復哨ハ二人乃至四人、下士哨ハ通常下士(又ハ上等兵)一人兵卒六人ヨリ成ル

問、小哨ニ在ル兵卒ノ心得ヲ述ヘヨ

答、小哨長ノ命令アルトキハ背裏ヲ卸ス然レトモ帶革(銃劍彈藥盒)及雜褰、水筒ハ必ス其ノ身邊ニ纏ヒ任務ノ爲カ又ハ許可ヲ受クルニアラサレハ小哨ヲ離ル、コトヲ得ス

問、行軍中兵卒ノ守ルヘキコトハ何々カラ述ヘヨ

答、勉メテ前後ニ重疊シ縱隊面ヲ擴張セサルコト、常ニ一側ヲ空フシ他隊若クハ傳騎ノ通過ヲ妨ケサルコト、各人恣ニ服裝ヲ亂サ、ルコト、已ムヲ得ス隊列ヲ離レムトスルトキハ小隊長(近傍ニアラサレハ分隊長)ノ許可ヲ受クヘキコト

問、携帶口糧ノ種類、分量及携帶法ヲ述ヘヨ

答、携帶口糧ハ之ヲ甲、乙ノ二種ニ分ツ甲ハ精米及副食物若干、乙ハ乾麵麩及副食物若干ニシテ各自二日分(甲一日分)ヲ携帶シ徒歩者ニアリテハ之ヲ背囊(脊負囊)ニ乘馬者ニアリ

テハ之ヲ鞍囊ニ收容ス

問、步哨ノ動作ヲ述ヘヨ

答、步哨ハ絶ヘス敵軍ノ方向ヲ監察シ總テ疑ハシキ徴候ニ深ク注意シ若シ敵ニ關シテ發見セシコトアレハ速ニ其ノ一人ハ小哨ニ報告ス

問、步哨ノ射撃ヲナス場合ヲ述ヘヨ

答、一、敵ノ急襲ニ方リ報告ニ違ナキトキ

二、自己ノ危害ヲ脱セントスルトキ例ヘハ不時ニ敵ニ襲ハレ捕獲セラレムトスルトキ等ノ如シ

三、步哨線前近距離ニ於テ我カ斥候等ノ危害ヲ援助スルトキ

四、敵ノ斥候等ニ我位置ヲ發見セラレタル場合其ノ敵ヲ

確カニ射殺シ得ルト認メタルトキ

五、夜間呼フコト三次ニ至ルモ答ヘサル片

問、前哨ヨリ出タル斥候ハ往路ト異ナル歸路ヲ撰フヲ利トスル

理由ヲ述ヘヨ

答、敵ニ中斷セララル、ノ危害ヲ避ケ得ルノミナラス廣ク地形ヲ候察シ得ルノ利アルヲ以テナリ

問、夜間高地ニアル步哨モ低地ニアル步哨モ各々特種ノ利アリ

其ノ利トスル所ヲ述ヘヨ

答、高地ニアル步哨ハ火光、焰氣ヲ視音響ヲ聞クニ利アリ又低地ニ在ルモノハ敵ヲ空際ニ透視スルノ利アリ

問、前哨ノ斥候步哨線ヲ通過スルトキノ注意ヲ述ヘヨ

答、其ノ近傍ノ步哨ニ已カ行先歸ル地點、歸著ノ概定時間ヲ

告ケ且歩哨ヨリハ前方ノ情况ヲ聞キ歸路ニハ已カ搜索情况  
ヲ單簡ニ步哨ニ告ケ置ク

問、宿營ノ種類ヲ述ヘヨ

答、舍營、村落露營、及露營ノ三種アリ

問、徒歩傳令使行進速度ノ種類ヲ述ヘヨ

答、並、急、至急ノ三種トス

問、斥候勤務ニ是非必要ナル性質及其ノ理由ヲ述ヘヨ

答、慧敏、熱心、沈著、豪膽ノ四性質ヲ必要トス就中剛膽ナ  
ルモノ最モヨク其任務ヲ達成スルヲ得ヘシ然レトモ斥候ハ  
又常ニ不意ノ危害ヲ豫防スル爲メ細心ノ注意ヲ怠ルヘカラ  
ス而シテ慧敏ナル者ハ未タ知ラサルノ地ニ於テ能ク其ノ地  
形、方位、及道路ヲ知り、熱心從事スル者ハ久シキニ耐ヘ

勞ヲ覺ヘス、沈著豪膽ナル者ハ不意ノ事ニ驚カス如何ナル  
危険ニ際スルモ猶能ク脱逸ノ方法ヲ求メ得ルモノナリ

### ○ 騎兵ノ部

(下)問、遞騎ハ如何ナル場合ニ設クルヤ

答、路程遠キ地ニ命令、報告ニ送致スルニ電信、電話等ノ  
設置アルモ其通信十分確實ナラサル時駐軍、行軍間ヲ問  
ハス之ヲ設ク又彼此遠隔セル行軍縱隊ヲ連絡スル爲ニモ  
設ク

(下)問、遞騎哨長ハ居常如何ナル注意ヲ要スルヤ

答、常ニ其傳送スル所ノ書簡ヲ受領シ速ニ之ヲ轉送スルノ  
準備ヲ爲シアルヲ要ス又次ノ事ニ注意スヘシ

(一)隣哨ト絶ヘス連絡ヲナシ書簡ノ往復ナキ時ト雖モ時々隣哨ノ存否ヲ檢ス

(二)遞騎簿ニ記載ノ爲書簡ノ送致ヲ遲滯セシメサルコト

(三)必要ノ場合ハ遞騎哨及遞送者ノ危険ヲ豫防スル爲嚴

罰ヲ以テ人民ヲ脅嚇シ或ハ人質ヲ取ルカ如キ特別ノ方

法ヲ講ス

問、傳騎ノ並ノ歩度ハ如何

答、概三分ノ一ノ歩度(常歩二ノ割合)ニテ一時間約八吉米

問、如何ニ速歩常歩ヲ配合スルカ

答、十分間常歩次二十分速歩、斯ク交互ニ配合ス

問、若シ時計ヲ所持セサルトキハ如何ニスルヤ

答、道路上ノ距離ヲ目測シツ、千米突常歩千米突速歩、斯

ク交互ニ常歩速歩ヲ取り行進ス

問、急ノ歩度トハ如何

答、概三分ノ二ノ歩度(常歩一ノ割合)ニ時間約十吉羅ヲ行進ス

問、至急ノ歩度ハ如何

答、至急ハ馬力ノ堪ユルニ應シ成ルヘク迅速ナル歩度ヲ用

ヒ戰場及約二十吉米以内ノ距離ニノミ應用スヘキモノト

ス

問、二十吉米ノ地ニ至急ノ歩度ニテ行クヘキ命ヲ受ケタル片

如何ナル歩度ノ配合ヲ取ルヘキヤ

答、此距離ハ概テ連續ノ駈歩ヲ取り得ヘキ最大限ナレト實

際ハ馬匹ノ現況ニ應シ途中若干分時ノ常歩速歩數回ヲ混

用スルヲ有利トス

問、傳騎途中ニテ上官ニ出遇フトキノ注意如何

答、傳騎ト呼ヒ敬禮ヲ行ハス又依然其歩度ヲ變スルコトナシ而シテ内容ヲ知レル報告ヲ携フルキハ前兵長及前衛司令官ニ高聲ニ告知ス

問、途中傳騎ノ馬カ跛行ニ罹リ使用ニ堪ヘサルトキハ如何ニスルヤ

答、代馬若クハ自轉車ヲ其附近ニ求ムルカ已ムヲ得サレハ徒歩ニテ勤務ニ服ス

但馬ハ廢棄スルモ馬具ハ後日收容ノ爲其附近ニ隱匿ス

問、騎兵ノ三人哨ノ馬ハ如何ニシテ保持スルヤ

答、種々ノ場合アリ規定ナシ

問、星ニ就テ方位ヲ知ル法如何

答、北極星ト稱スル星ニヨリ北ヲ知リ得ヘシ

此星ヲ知ルニハ先ツ大熊星ヲ發見シ其左端ノ二星ヲ連テタル線ヲ引伸シ二星間ノ五倍ノ位置ヲ見ルトキハ燦爛タル一星アリ是レ北極星ナリ

(下)問、騎兵ハ鐵道、電線等ヲ破壞スルニハ如何ナル火具、器具ヲ用ユルヤ

答、破壞器具(疊、鋸、手斧)

火具(爆發罐、雷管、導火索)

(火具ハ鞍囊内蓋ニ破壞器具ハ鞍囊外側ニ結束ス)

問、鐵道輸送ニ於テ馬看守兵ノ注意如何

答、一、絶ヘス馬ノ状態ニ注意シ其安全ヲ圖ル飼付中ハ一層注意ヲナシ殊ニ水飼ヲ充分ニス



二、貨車ノ入口ニ踞坐シ喫煙又ハ恣ニ點火スルハ嚴禁トス

三、車扉ハ僅ニ開キ運行中馬ノ安靜ナル時ノミ一方ノ扉ヲ徐ロニ開クコトヲ得

四、馬沈靜ナルニ至レハ緊張シタル繫索ハ漸次ニ之ヲ弛ムヘシ

### ○野砲兵ノ部

問、行軍中「休メ」ノ號令又ハ號音アリタルトキハ如何ナルコトヲ許サル、ヤ

答、談話(低聲)及喫煙スルコトヲ得又徒步者ハ歩ヲ調フルヲ要セス

問、行軍中隊列ヲ離レントスルニハ如何ナル所置ヲナサ、ルヘカラサルヤ

答、砲車長ニ届出テ小隊長以上ノ許可ヲ受ケサルヘカラス、若シ携帶スル射撃用具アルトキハ必ス隣兵ニ托ス

問、行軍中馭者カ馬ノ輓曳ニ付注意スヘキ件如何

答、常ニ各馬ヲ平等ニ且ツ沈靜ニ正シク輓曳セシメ各馬ノ體力ニ應シ其疲勞ヲ均一ナラシムルコトニ注意ス又馭者ノ姿勢ハ勿論馬匹ノ姿勢ヲモ正シク保タシメ外傷ノ豫防及局部ノ疲勞ヲ避クルコトニ注意ス

問、第一小休止ノ目的如何

答、服裝、馬裝ノ改装並ニ兩便ヲ達スル爲メナリ故ニ先ツ各職務ニ應シテ服裝、馬裝、材料、馬匹ヲ綿密ニ検査シ微少

ナル不具合ナル點モ決シテ放置セズ必ス修正ヲナス

問、小休止間砲手トシテ注意スヘキ點如何

答、車輛ノ附着品並ニ服裝々具中落失又ハ其恐アルモノアラサルヤ螺子割栓等ノ緩ミタルモノナキヤ靴中ニ土砂ノ入りアラサルヤ靴下ノ皺チ生シアラサルヤニ注意ス但シ炎暑ノ候ニ於テ湯茶ノ補充ヲ得ルトキハ必ス填實シ置ク

問、小休止間馭者ノ馬匹ニ付注意スヘキ點如何

答、馬裝中落失若クハ其恐アルモノナキヤ鞍下毛布ニ皺ヲ生セサルカ腹帶緩喉革ノ馬體ト觸接面ニ毛ノ揉レアラサルカ革面ハ滑カナルヤ頸上革ノ頭ヲ擦リアラサルヤ蹄鐵ノ釘ハ緩ミアラサルカ釘頭ハ缺失シアラサルヤ釘節ハ蹄壁ニ接シテ曲リアルヤニ注意ス

問、馬體ニ緩喉革擦ノ恐レアルトキハ如何ナル處置ヲナスヤ

答、清水ニテ堅ク絞リタル雑巾ヲ以テ革面ヲ拭淨シ馬體ノ之ニ接スル部分ハ清水ヲ以テ洗フ若シ傷チ生スルノ恐アルトキハ緩喉革ヲ上下シテ其部位ヲ避ケ或ハ滑ナル物（水洗昆布又疊表ノ如キモノ）ヲ緩喉革ニ纏フ

問、宿營ノ種類如何

答、舍營、露營、村落露營ノ三種アリ

問、宿舍ニ到着ニ際シ被服裝具ニ付先ツ注意スヘキ件如何

答、被服、裝具ハ能ク手入シ或ハ修繕シ然ル後如何ナル不時ノ變アルモ直ニ武裝シ得ル如ク整頓シ始メテ休憩ニ移ル

問、舍主ニ對スル心得如何

答、温和ヲ第一トシ禮儀ヲ守リ決シテ粗暴倨傲ノ振舞アツテ

ハナテヌ

問、野外厩當番ノ特ニ注意スヘキ件如何

答、馬ノ放レサルコト

馬ノ綱ヲ跨ケサルコト

馬ノ咬合ヒ又ハ蹴合ハサルコト

其他飼付ノ際ニ馬糧ヲ散亂セシメサルコト及火氣ニ注意

スヘキ件トス

問、夜行軍ニ於テ馭者ノ特ニ注意スヘキ件如何

答、馬裝ノ正確ナルヤ休止ヨリ發進ノ際ハ轆索ヲ跨ケアラサ

ルヤ落鐵シアラサルヤ及自己ノ假眠セサル様注意ス

問、携帶口糧ハ隨時使用スルコトヲ得ルヤ

答、豫備糧食ニシテ特ニ上官ヨリ命令アルニアラサレハ使用

スルコトヲ得ス

問、傳令トシテ出發セントスルトキハ特ニ馬裝ノ整備、馬ノ檢

査蹄鐵ニ注意ヲ要スル理由如何

答、傳令ハ運動ヲ迅速ニセサルヘカラス然ルニ馬裝ノ不良ナ

ル點アレハ馬匹ヲ負傷セシメ又馬體ニ不良ノ點アレハ迅速

ナル運動ヲ要求スルヲ得ス特ニ蹄鐵ニ於テ然リトス

### ○工兵ノ部

問、宿營ニ就キタルトキ先第一ニ何ヲスルカ

答、武器被服ノ手入ヲナシ之ヲ整へ置キ何時ニテモ武裝シ

テ出發出來ル様準備シ置ク

問、露營中警報アレハ如何ニスルヤ

答、各自速ニ背囊ヲ負ヒ又銃線ニ集合ス但命令ナケレハ解

銃セス

問、斥候カ歩哨線ヲ通過スルトキハ如何ニスルヤ

答、其近傍ノ歩哨ニ己カ行先、歸ル場所、歸着ノ概定時間

ヲ告ケ尙前面ノ情況ヲ歩哨ヨリ聞ク歸ニハ搜索セシ敵狀

ヲ單簡ニ歩哨ニ告ク

(下)問、工兵ノ小行李ニハ如何ナルモノヲ携行スルヤ

答、土工器具、木工器具、爆破、測量、通信、雜器材等ナリ

問、携帶口糧トハ如何ナルモノカ

答、各自背囊ニ入レテ行ク豫備ノ糧食ヲ糲、乾パン、罐詰

肉食鹽等ナリ

問、携帶口糧ハ如何ナル場合ニ用ユルモノナルヤ

答、己ムヲ得サル場合ニ用ユルモノニシテ命令ナケレハ隨

意ニ使用スルコトヲ得ス

(下)問、行軍力ヲ保持スルニハ如何ナル注意ヲ要スルヤ

答、軍紀ヲ守リ着裝ヲ正シ衛生ニ注意シ殊ニ靴傷ヲ豫防ス

ル爲メ休憩毎ニ善ク足ノ保護ヲナス

問、工兵中隊他兵種ト混合シテ一地ニ舍營スルトキ其舍營勤

務ニハ如何ナル階級ノモノ服スルヤ

答、部隊日直トシテ一名ノ下士之ニ服ス

問、部隊日直下士ハ如何ナルコトヲナスヲ要スルヤ

答、直ニ舍營日直將校ニ届出テ舍營ノ内務及警戒ニ關シ必

要ナル命令ヲ受ケ又其舍營區内ノ靜肅及軍紀ニ注意シ且

ツ隊長及舍營司令官ノ命令ヲ實施ス

(下)問、工兵ノ彈藥ハ戰場ニ於テ何レヨリ補充ヲ受クルヤ  
答、近傍ニアル歩兵大隊若クハ歩兵彈藥縱列ヨリ受ク

### ○輜重兵ノ部

問、小行李トハ如何ナルモノヲ云フヤ

答、小行李トハ駄馬ヲ以テ編成シ戦闘間必要ナル物品ヲ運搬スルモノニシテ衛生材料、彈藥、器具ノ如キモノヲ云フ

問、大行李トハ如何ナルモノヲ云フヤ

答、大行李トハ車輛ヲ以テ編成シ宿營間必要ナル物品ヲ運搬スルモノニシテ荷物、炊具、糧秣、野戰職工具、豫備蹄鐵、豫備被服ノ如キモノヲ云フ

問、給養ノ種類ヲ問フ

答、舍主ノ供給スル糧秣、軍隊ノ携行スル糧秣、倉庫ノ糧秣

若クハ徵發セル糧秣ニ依ル給養ノ四種トス

問、軍隊ノ携行スル糧秣トハ如何ナルモノナルヤ

答、各自携行スル糧秣及大行李糧食縦列ニ積載スル糧秣ヲ云フ

問、携帶口糧及携帶馬糧ハ如何ナル場合ニ使用スルヤ

答、此糧秣ハ非常ノ場合ト他ニ給養ノ方法ナク己ムヲ得サル時ニアラサレハ之ヲ用ユヘカラス而シテ之ヲ用ユヘキ時ハ必ス上官ヨリ命令アルモノトス

問、携帶口糧ノ種類、分量、及携帶法ヲ述ヘヨ

答、携帶口糧ハ精米及副食物若干(甲)若クハ乾麵包及副食物若干(乙)ニシテ各自二日分(甲一日分)ヲ携帶シ輸卒ハ之ヲ脊

負袋ニ乘馬者ハ之ヲ鞍囊ニ收容ス

問、携帶馬糧ノ種類及携帶法如何

答、携帶馬糧ハ米若干ニシテ各馬一日分ヲ携行シ乘馬ニ在リ

テハ之ヲ鞍(旅)囊ニ輓馬ニ在テハ車輛ニ馱馬ニ在リテハ馱

鞍ニ積載スルモノトス

問、行軍力ノ維持スル爲幹部ノ注意スヘキ要件如何

答、行軍々紀ヲ嚴ニシ被服、裝具、蹄鐵、馬裝及積載ノ狀況

ヲ監察シ人馬ノ給養及衛生ニ注意ス

問、長途行軍ニ於ケル行軍力ノ盛否ハ如何ナルコトニ依リテ知

リ得ルヤ

答、長途行軍ニ於テ徒歩兵ノ靴傷、馬匹ノ鞍傷及四肢ノ疾病

ハ列兵ヲ減少ス此減員ノ多少ヲ以テ行軍ニ用ヒタル注意ノ

深淺ヲ知リ且其軍隊ノ價值ヲトスルニ足ルモノトス

問、軍隊ハ一吉米ヲ行クニ通常幾時間ヲ要スルヤ

答、一吉米ヲ行クニ十三分時ヲ要ス

問、行軍中一回若クハ數回ノ休憩ヲ行フトキニハ如何ナル時間

ニ行フヤ

答、若一回ナルトキハ路程ノ過半ヲ經過シタル後ニ於テシ數

回ナルトキハ概テ每一時ニ於テスルヲ適當トス

問、夜行軍ハ如何ナル時機ニ行フヤ

答、夜行軍ハ敵ニ關スル顧慮ト急行ヲ要スル時トニ因テ行フ

又例外ニハ炎熱ノ時ニ於テ晝間ノ行軍ニ代ルコトアルヘシ

問、舍營ノ利害ヲ述ヘヨ

答、舍營、ハ戰鬥ノ準備容易ナル能ハスト雖モ風雨ヲ障蔽シ

人馬ヲ給養シ需用品ノ補充、調理及裝具、被服ノ補修ニ便ナルヲ以テ休養上ヨリ云へハ極メテ惡シキ舍營モ尙ホ露營ニ優レリトス故ニ苟モ戰術上ニ妨ナケレハ宿營ハ舍營ヲ以テ最良トス

### ○ 經理部ノ部

問、警急舍營トハ如何

答、軍隊宿營ヲ爲スニ當リ、警備上必要ナルトキハ若干部隊ヲシテ嚴肅ナル戰備ヲ保持セシメ適當ナル家屋ニ相合シテ舍營セシム之ヲ警急舍營ト云フ  
警急舍營ハ勉メテ建制部隊毎ニ一家屋ニ舍營シ服裝ヲ整へ武器、裝具ヲ身邊ニ置キテ眠臥シ凡テ窓戶ヲ開キ各家

屋ニ少クモ兵卒一人點燈シテ警戒ヲ爲ス馬匹モ亦此要領ニ從ヒ整頓シアルヲ要ス

(下)問、戰地ニ於ケル給養ノ種類

答、軍隊ノ携行スル糧秣、倉庫ノ糧秣若クハ部隊ノ直接ニ購買、徵發セル糧秣ニ依リ又稀ニ舍主ノ供給スル糧秣ニ依リ之ヲ行フ

問、軍隊ノ携行スル糧秣トハ如何

答、各自携帶スル糧秣及大行李糧秣、糧食縱列ニ積載スル糧秣ヲ云フ

問、携帶糧秣ノ種類及量如何

答、携帶口糧及携帶馬糧ノ二種ニシテ、携帶口糧ハ各人精米一日分「六合」(甲)、乾麵麩一日分「一八〇匁」(乙)及副

食物「罐詰肉四〇匁（但シ騎兵及之ト行動ヲ共ニスル部隊ノ乘馬者ハ二〇匁）、食鹽六匁」トシ、携帶馬糧ハ各馬大麥二升五合（騎兵及之ト行動ヲ共ニスル部隊ノ乘馬ハ二升）トス

問、給養方法ハ誰カ定ムルヤ

答、高等司令官其時ノ情況ニ應シ定ム

問、舍主ノ供給スル糧秣ハ何ヲ標準トスルヤ

答、地方慣用ノ常食ヲ顧慮シ戰時定量ヲ標準トス

問、舍主ノ供給スル糧秣不充分ニシテ定量ニ滿タサルトキハ

如何ニスルヤ

答、其直屬長官直チニ舍主ニ就ラ之ヲ補足セシメ若シ舍主之ヲ補足シ能ハサルトキハ隊長若クハ舍營司令官之ヲ市

町村長ニ要求スルモノトス

問、大行李ニハ如何ナルモノヲ積載スルヤ

答、騎兵破壊器具、工兵隊器材、荷物、金櫃、糧秣、職工具、輜重携行器具、豫備蹄鐵、蹄鐵工具、豫備被服、炊具

問、大行李行進順序

答、概シテ所屬部隊ノ行軍序列ニ從フモノトス、然レトモ大行李長ハ時ノ形勢ニ應スル如ク適宜之ヲ變更スルコトヲ得ヘシ

高等司令部ノ行李ハ情況ニ應シ或ハ獨行シ或ハ某隊ノ行李ト共ニ行進ス



# ○射撃教範ノ部

(歩兵下士)

問、基本射撃、應用射撃、戰鬪射撃ノ區別ヲ述ヘヨ

答、基本射撃ハ戰鬪射撃ノ基礎教育ニシテ之ヲ分チテ豫習及

實習トス

應用射撃ハ實包ヲ以テスル單獨射撃ノ實戰的教育トス

戰鬪射撃ハ實包ヲ以テスル部隊ノ射撃教育トス

問、射撃部隊ノ正面ハ目標ニ對スル方向ト如何ナル角度ヲ取ル

ヲ有利トスルヤ其理由ヲ述ヘヨ

答、可成直角ナラシムルヲ有利トス若シ狀況ニ依リ斜對スル

トキニ於テモ左右十五度以上ニアラシメサルヲ可トス是レ

十五度以上ニ斜對スルトキハ照準ヲ困難ナラシメ隨テ射撃ノ効力ヲ減殺スルニ依ル

問、彈着ノ景況ニ依ル射撃効力觀察ノ概要ヲ述ヘヨ

答、目標ノ前後ニ反跳スル彈丸ノ多寡ニ依リ觀測ス即チ低キ

目標ニ對シテハ全跳彈ノ約二分ノ一高キ目標ニ對シテハ約

三分ノ一ヲ目標ノ直前ニ認ムルヲ得ハ其ノ射撃ハ良好ノ景

況ニ在ルモノトス

問、補助目標ニ依ル射撃トハ如何ナル射法ヲ云フヤ

答、見ヘ難キ目標ニ對シ補助ノ照準點ヲ目標ニ通スル線ノ上

方若クハ下方ニ撰ヒ射撃スル方法ヲ云フ

問、機關銃隊ヲ射撃スルニ最モ有効ナル時期如何

答、其ノ運動中、障地進入若クハ撤去ノ時

問、夏、冬及風ノ方向ノ射撃ニ感及スル關係ヲ述ヘヨ

答、夏(暑熱ノ候)ニ於テハ概シテ射距離ヲ増加シ、冬(寒冷ノ候)ニ於テハ概シテ射距離ヲ減縮スルモノトス

又後方或ハ前方ヨリ來ル風ハ射距離ヲ増減シ側方ヨリ來ル風ハ彈丸ヲ側方ニ偏セシム

問、銃ニ腔線ヲ施ス理由ヲ述ヘヨ

答、彈丸ヲシテ絶ヘス其尖頭ヲ前方ニ維持セシメ終始規正ノ彈道ヲ畫カシメムカ爲ナリ

問、危險界トハ如何及其ノ増減スル關係ヲ述ヘヨ

答、彈道ノ目標高ヲ越ヘサル地面ノ點ヲ云フ而シテ危險界ハ射距離、目標高、目標所在地ノ傾斜ニ關シ増減ス又近距離ニアリテハ射手ノ姿勢及照準點ノ位置ニヨリ増減スルモノ

トス

問、中間距離ニ於ケル照尺ノ用法ヲ述ヘヨ

答、實距離ヨリ近キ照尺ヲ採用ス例ヘハ實距離五百三十米ナレハ五百米ノ照尺ヲ採用スルカ如シ

問、射撃ノ命中ヲ良好ナラシムル要件ヲ述ヘヨ

答、精神ノ沈着、姿勢ノ堅確、眼、心、指ノ一致、裝填ノ迅速、照尺裝置ノ正確、据銃ノ迅速且確實、照準ノ精密及其ノ時間ノ短少ハ命中ヲ良好ナラシムル要件トス

問、距離測量ノ種類ヲ述ヘヨ

答、機械測量、音響測量、步測、及目測ノ四種アリ而シテ最モ多クノ場合用ユルモノハ目測トス

問、距離目測ニ於テ近ク誤リ易キ場合ヲ述ヘヨ

答、天候晴朗ナルトキ、測手太陽ヲ背ニセルトキ、目標其ノ背後ノ物色ノ關係ニ依リ鮮明ナルトキ、遠隔セル明瞭ナル獨立物體、水面、平坦地、波狀地、特ニ中間ノ土地ヲ通視シ得サルトキ等

問、遠ク誤リ易キ場合

答、炎熱ノトキ、測手太陽ニ面セルトキ目標其背後ノ物色ノ關係ニ依リ鮮明ナラサルトキ曇天、濃霧、曉暮、森林内及狭長ノ土地等

(歩兵卒)

問、光線上方又ハ側方ヨリ照星ヲ照ストキハ射距離又ハ彈着ニ如何ナル關係ヲ及ホスヤ

答、上方ヨリ照ストキハ射手ノ眼ニ映スル視像大トナルヲ以

テ自然照星ヲ低ク照門内ニ現ハシ射距離ヲ減ス若シ側方ヨリ之ヲ照ストキハ照星ノ輝ク方ノ視像他ノ方ヨリ膨大スルヲ以テ自ラ照星頂ヲ一側ニ偏シテ照門内ニ現ハシ彈丸ヲシテ暗黒ナル方ニ偏セシム

問、曇天、曉暮等總テ照星ヲ視ルコト明瞭ナラサルトキニアリテハ之カ射距離ニ及ホス關係ヲ述ヘヨ

答、自然照、星頂ヲ照門内ニ高ク現ハレ隨テ射距離ヲ増大ス

問、照準機トハ銃ノ何ノ部分ヲ云フヤ

答、照星及照尺ヲ照準機ト云フ

問、三八式歩兵銃ノ最高照尺及最大射距離ハ何米ナルヤ

答、照尺二千四百米、射距離四千米

問、正シキ照準トハ照星頂ト照門トノ關係如何ナル景況ニアル

トキヲ云フヤ

答、照星頂ヲ照門ノ中央ニシテ其ノ兩縁ト水平ナラシムルト  
キハ正シキ照準ナリ

問、引鐵ヲ引ク際食指ノ運動ヲ臂ニ波及セシメサル爲ニハ如何  
ニセハ可ナルヤ

答、右手ヲ以テ銃把ヲ固ク握リ食指ノ第二節ヲ引鐵ニ鉤ケ其  
ノ第一段ヲ壓シ次ニ食指ノ前部二節ヲ曲ケ徐ロニ第二段ヲ  
壓シ微弱ノ力ニテ終リニ擊發シ得ルニ至ラシムル如クス

問、側方ニ移動スル目標ヲ射擊スルトキノ照準點ハ如何

答、目標ノ運動ニ從ヒツ、其ノ前方ヲ照準ス

### ○騎兵之部

問、照準線トハ如何

答、照門ノ正中ヨリ正シク照星頂ヲ見通シタル直線ヲ云フ

(下)問、偏避トハ如何

答、銃ノ特性ニヨリ或ハ射手ノ技倆ニヨリ彈丸ノ所望點ニ  
命中セスシテ或一方ニ偏スルヲ云フ

問、風ハ彈着ニ如何ナル感應ヲ及ホスヤ

答、後方或ハ前方ヨリ來ル風ハ射距離ヲ増減シ側方ヨリ來  
ル風ハ彈丸ヲ側方ニ偏移セシム而シテ其偏避ノ度ハ射距  
離及風速ノ強弱ニ從ヒ益々甚シ

問、照準點ハ如何ナル處ニ撰フヤ

答、通常目標ノ下際ニ探ルモノトス而シテ目標ニ對スル上  
下ノ修正ヲ照尺ノ變換ニ依リテ行フ

問、照尺度ト合致セサル中間ノ距離ニ在ル目標ニ對シテハ如  
何ナル照尺ヲ採用スルヤ

答、通常其距離ノ差ノ少ナキ照尺ヲ採ル

問、危險界トハ如何

答、彈道カ目標高即チ騎兵、歩兵ノ立姿、膝姿、伏姿ノ高  
サヲ超過セサル平坦地ノ長サヲ云フ

問、實包射撃ニ於テ彈藥不發ナルトキ射手ハ如何ニスルヤ

答、彈藥不發ナルトキハ徐口ニ遊底ヲ開キ彈藥ヲ旋回シテ  
新位置ヲ取ラシメ再ヒ射撃ス此ノ如クスルモ發セサル片  
ハ他ノ實包ト交換ヲ乞フ

問、遠距離射撃ニ於ケル照準法ヲ問フ

答、遠距離ノ照尺ヲ取り照準スルトキハ照準線ヲ眼ノ高サ  
ニ導ク爲照尺度ノ高上スルニ從ヒ床尾鉞ノ位置ヲ下方ニ  
スルヲ要ス

之カ爲漸時右肘ヲ低下シ終ニ體ニ接シ床尾鉞ヲ内騰ニ當  
ツヘシ

然ルトキハ銃把モ亦漸時下方ヨリ一層緊握シ左手ヲ用心  
鐵ニ近ツケ又ダ射手ノ體格ニ依リ左掌ヲ内方ニ向クルモ  
防ケナシ然レモ何レノ場合ニアリテモ頭ヲ殆ント自然ノ  
位置ニアルヲ要ス

問、距離目測ニ於テ太陽ヲ背後ニスルトキト太陽ニ面スルト  
キニ於テ誤差ニ感及アリヤ

答、太陽ヲ背後ニスルトキハ近ク誤リ太陽ニ面スルトキハ遠ク誤ル

問、音響測量ノ要領

答、音響ハ一秒間ニ約三百三十三米突ヲ經過ス即チ三秒間千米突ヲ經過ス故ニ三秒間ニ十節調ヲ唱フル如ク練習シ置ク片ハ一節調ハ百米ニ相當ス、假令ハ砲火ヲ見テ砲聲ヲ聞ク迄ニ十五節調ヲ算ヘタリトセハ其砲兵ヨリ千五百米突ノ地點ニ自ラ位置シアルヲ知ルヘシ

問、引鐵ノ引方ヲ問フ

答、引鐵ノ引方ハ右手ヲ以テ銃把ヲ緊握シ食指ノ第二節ヲ引鐵ニ鈞シ第一段ヲ壓シ徐ロニ食指ノ前部二節ヲ曲ケ第二段ヲシテ微弱ノ力ヲ加フレハ意ニ應シ直ニ逆鈞ヲ離脱

セシムル如ク遂ニ擊發スルニ至ラシム此際食指ノ運動ハ之ヲ臂ニ波及セシムヘカラス故ニ食指ヲ曲タルニ從ヒ右手ヲ以テ漸時強ク銃把ヲ握ルヲ要ス

(下)問、照準發射ニハ眼心指ノ一致ヲ要ス其理由

答、假令照準正シクトモ發射ノ際呼吸ヲナストキハ照準ノ狂ヲ生スヲ以テ沈靜ヲセシメサルヘカラス又引鐵ノ引方ニモ注意セサルヘカラス故ニ照準ノ時ニハ呼吸ヲ止メ其際逆鈞ノ離脱スル如ク一致セサルヘカラス

(下)問、單獨射撃ニ於ケル効力限界

答、二百米突以内ニアリテハ各種ノ目標、三百米突以内ニ在リテハ單獨膝姿兵、四百米突以内ニアリテハ單獨立姿兵、五百米突以内ニアリテハ立姿群及單獨騎兵

### ○工兵射撃ノ部

(下)問、夏ト冬トニ依リ射距離ニ差異アルカ

答、夏ハ射距離ヲ増シ冬ハ之ニ反ス

### 在郷軍人心得 (下士卒共通)

本問答ニ於テ新令トハ陸軍々人服役令同施行  
規則ヲ云ヒ舊例トハ舊陸軍服役條例ヲ云フ

問、豫備役下士服役期間ノ終期ハ如何

答、志願ニ依ラスシテ兵卒ヨリ下士ニ任セラレタル者ニ在リ  
テハ徵集年ノ十二月ヨリ其ノ他ノ者ニ在リテハ任官年ノ十  
二月ヨリ起算シ七年四月ニ滿ツル日トス

(注意) 新令舊例異ナルコトナシ

問、後備役下士ノ服役期間ノ終期ハ如何

答、志願ニ依ラスシテ兵卒ヨリ下士ニ任セラレタル者ニ在リ  
テハ徵集年ノ十二月ヨリ、其ノ他ノ者ニ在リテハ任官ノ年  
ノ十二月ヨリ起算シ十七年四月ニ滿ツル日トス

(注意) 志願ニ依ラサル下士ニシテ徵集中ノ關係上十七年四月ニ滿タサル以前ニ於テ滿四十才ヲ超過スル者ニ在リテハ滿四十才ヲ以テ限リトシ其ノ他ノ者ニ在リテハ滿四十五才ヲ以テ限リトス

問、豫備役、後備役下士ハ如何ナル場合ニ於テ償勤スルヲ要スルヤ

答、犯罪ノ爲又ハ正當ノ事由ナクシテ召集ニ應セス若クハ其ノ期ニ後レ又ハ召集中職役ヲ離レタルトキハ其ノ年ハ之ヲ服役期間ニ算入セス

(注意) 舊例ニ於テハ犯罪ノ爲又ハ正當ノ事由ナクシテ召集ヲ缺キタル場合ノミヲ規定シアリタルモ新令ニ於テハ召集ノ期ニ後レ又ハ召集中職役ヲ離レタル場合ヲモ加ヘ制裁ヲ重クセラレタリ

問、後備役下士及下士適任證書ヲ所持スル後備役上等兵ハ其ノ服役ヲ繼續セムトスルトキノ願出手續如何

答、年數ヲ定メ後備役滿期一月前ニ本籍地所管聯隊司令官ニ願出ツ但其ノ繼續ノ最終期限ハ滿四十五歳トナル年ノ三月三十一日迄トス

(注意) 舊例ニ於テハ其ノ最終期限ヲ滿五十歳ト爲ル年ノ三月三十一日迄ト定メアリタルモ新令ニ於テハ四十五歳トナル年ノ三月三十一日迄ト定メラレタリ又豫備役者ノ服役繼續ハ新令ニテ削除セラレタリ

問、十四日以上本籍地外ニ旅行、滞在、寄留又ハ外國ニ旅行若クハ在留セムトスルトキノ届出手續如何

答、召集又ハ軍衙ノ命アルトキ之ヲ通報スヘキ通報人ヲ定メ出發前連署ヲ以テ其ノ行先ト共ニ本籍地聯隊區司令官ニ届出ツ

(注意) 舊例ニ於テハ通報連署ノ定メナカリシモ新令ニ於テハ連署ト定メ通報人ノ責任ヲ重クセラレタリ、以下同シ



問、外國ニ旅行又ハ在留ノ届出ヲナシタル者其届出ノ日ヨリ十四日以内ニ内地ヲ離レサルトキハ如何ニスルヤ

答、十四日以内ニ本籍地聯隊區司令官ニ届出ツ

(注意) 本件ハ新令ニ於テ新ニ定メラレタルモノトス

問、寄留地ニ於テ勤務演習ニ應シ又ハ簡閲點呼ヲ受クヘキ許可ヲ得タル者十四日以上其ノ地以外ニ旅行又ハ滞在スルトキハ如何ナル届出ヲ要スルヤ

答、寄留地市、區、町村ニ於テ通報人ヲ定メ出發前連署ヲ以テ其ノ行先ト共ニ寄留地市、區町、村長ヲ經テ寄留地聯隊區司令官ニ届出ツ

(注意) 舊例ニ於テハ旅行ノ時ノ届出ツルコトニ定メアリタルモノトス  
於テハ滞在ノ時ヲモ加ヘラレタルモノトス

問、召集通報人ヲ變更スルヲ要スルトキハ如何ニ手續ヲナスヤ

答、通報人死亡其ノ他ノ事故ニ依リ變更ヲ要スルトキハ更ニ

通報人ヲ定メ十四日以内ニ連署ヲ以テ届出ツ

(注意) 本件ハ新令ニ於テ新ニ定メラレタルモノトス

問、寄留地變更ヲナシタルトキハ如何ニスルヤ

答、十四日以内ニ本籍地聯隊區司令官ニ届出ツ

(注意) 本件ハ新令ニ於テ新ニ定メラレタルモノトス

問、寄留地ニ於テ勤務演習ニ應シ又ハ簡閲點呼ヲ受クヘキ許可

ヲ得タル者寄留地變更ヲナスモ從前ノ寄留地ニ於テ勤務演習ニ應シ又ハ簡閲點呼ヲ受ケムトスル者ハ如何ニスルヤ

答、從前ノ寄留地ニ於テ通報人ヲ定メ寄留換前ニ連署ヲ以テ從前ノ寄留地市、區、町、村長ヲ經テ從前ノ寄留地聯隊區

司令官ニ届出ツヘシ

(注意) 新令ニ於テ新ニ定メラレタルモノトス

問、外國ヨリ歸朝シタル者内地歸着ノ日ヨリ十四日以内ニ本籍地ニ復歸セサルトキノ届出方如何

答、十四日以内ニ本籍地聯隊司令官ニ届出ツ

(注意) 新令ニ於テ定メラレタルモノトス

問、寄留地ニ於テ勤務演習ニ應シ又ハ簡閱點呼ヲ受クヘキ許可ヲ得タル者本籍地ニ復歸スルモ従前ノ寄留地ニ於テ勤務演習ニ應シ又ハ簡閱點呼ヲ受ケントスルトキハ如何ニ手續ヲナスヤ

答、従前ノ寄留地ニ於テ通報人ヲ定メ復歸前連署ヲ以テ従前ノ寄留地市、區、町、村長ヲ經テ従前ノ寄留地聯隊區司令

官ニ届出ツ

(注意) 新令ニ於テ新ニ定メラレタルモノトス

問、寄留地ニ於テ勤務演習ニ應シ又ハ簡閱點呼ヲ受クル許可ヲ得タル者旅行又ハ滞在ノ後寄留地ニ復歸シタル者ハ如何ナル手續ヲナスヤ

答、十四日以内ニ寄留地市、區、町、村長ヲ經テ寄留地聯隊

區司令官ニ届出ツ

(注意) 本件ハ新令ニ於テ新ニ定メラレタルモノトス

問、本籍地外ノ聯隊區ニ寄留スル者ニシテ其ノ地附近ノ軍隊ニ於テ勤務演習ヲ爲サムトスル者ハ如何ナル手續ヲナスヤ

答、毎年一月一日ヨリ三月一日迄ノ間ニ其ノ願書ニ本籍地市、區、町、村長ノ奥書、證印ヲ受ケ本籍地聯隊區司令官ニ

願出テ許可ヲ受ク

(注意) 舊例ニ於テハ過去一年以上寄留スルモノニアラサレハ許可セラレ  
ス而シテ其出願期日ノ定メナシ

問、寄留地ニ於テ簡閲點呼ヲ受ケムトスル者ハ如何ナル手續ヲ  
ナスヤ

答、毎年一月一日ヨリ四月一日迄ニ其ノ願書ニ本籍地市、區  
町、村長ノ奥書證印ヲ受ケ本籍地聯隊區司令官ニ願出テ許  
可ヲ受ク

(注意) 舊例ニ於テハ本籍所在聯隊區ノ點呼開始前三十日迄ニ出願ツル如  
ク規定シアリタリ

問、寄留地勤務演習及寄留地點呼參會ノ許可ヲ取消サントスル  
トキハ如何ナル手續ヲナスヤ

答、本籍地ニ於ケル勤務演習又ハ點呼開始前ニ本籍地聯隊區  
司令官ニ願出ツ

(注意) 新令ニ於テ新ニ定メラレタルモノトス

問、歩兵科兵卒、電信隊工兵科兵卒、及衛生部兵卒ニシテ歸休  
中ノ者ハ寄留地勤務演習又ハ寄留地點呼參會ヲ願出ツルコト  
ヲ得ルヤ

答、願出ツルモ許可セラレス

(注意) 新令ニ於テ新ニ定メラレタルモノトス舊例第一百七條ノ二ノ歸休  
兵ハ特科隊兵ヨリ徵兵令第十五條ニ依リ二年在營ノ上歸休ヲ命セラレタ  
ル者ヲ指スモノニシテ即チ新令ノ五十九條ニ該ルモノトス

問、寄留地勤務演習應召又ハ寄留地點呼參會ノ許可ヲ得タル者  
ハ如何ナル手續ヲ要スルヤ

答、應召ヲ許可セラレタル者ハ其ノ年四月一日迄ニ、參會ヲ

許可セラレタル者ハ其年五月一日迄ニ其ノ旨ヲ寄留地市、  
區、町、村長ヲ經テ寄留地聯隊區司令官ニ届出ツ

(注意) 新令、舊例異ナルコトナシ

問、寄留地ニ於テ勤務演習應召許可取消又ハ寄留地點呼參會許  
可取消ヲ願出テ許可セラレタル者ハ如何ナル手續ヲ要スルヤ  
答、其ノ許可ヲ受ケタル後直ニ其ノ旨ヲ寄留地市、區、町、  
村長ヲ經テ寄留地ノ聯隊區司令官ニ届出ツ

(注意) 新令ニ於テ新ニ定メラレタルモノトス

問、已ムヲ得サル事故ノ爲勤務演習召集ノ猶豫及簡閱點呼ノ免  
除ヲ願出テムトスルトキノ手續如何  
答、其ノ事實ヲ證明シ市、區、町、村長ノ奥書證印ヲ受ケ召  
集ニアリテハ令狀受領前、點呼ニ在リテハ點呼開始前本籍

地聯隊區司令官ニ願出ツ但シ歩兵科兵卒、電信隊ニ屬スル  
工兵科兵卒及衛生部兵卒ニシテ歸休中ノ者ハ願出ツルコト  
ヲ得ス

(注意) 新令、舊例異ナルコトナシ

問、父母、妻子ノ死亡又ハ疾病危篤ノ爲勤務演習召集ノ延期ヲ  
願出テムトスルトキノ手續如何

答、令狀受領後召集期日迄ノ間ニ本籍地聯隊區司令官ニ願出  
ツ但疾病危篤ノ場合ハ醫師ノ診斷書ヲ添へ又寄留地應召ヲ  
許可セラレタル者ニアリテハ寄留地市、區、町、村長ヲ經  
テ寄留地聯隊區司令官ニ願出ツ

(注意) 召集令施行規則第七十八條ニアリ

問、傷痍、疾病ニ罹リ永久兵役ニ堪ヘサルトキハ如何ナル手續

チナスヤ

答、任職陸軍々醫ノ診斷書若クハ醫師ノ病況書ヲ添へ本籍地  
聯隊區司令官ニ届出ツ但病況書ニハ必ス病名、原因、經過  
現症、療法及豫後ヲ詳記スルモノトス

(注意) 新令、舊例異ナルコトナシ

問、豫備役、後備役下士及下士適任證書ヲ有スル上等兵現役ニ  
服セムトスルトキノ出願期限並其ノ手續如何

答、願書ニ原所屬部隊、現官任命年月日、及現役滿期ノ年月  
日、現役ニ服シタル年數、現役滿期後ノ職業並服役セムト  
スル部隊等ヲ記シ現役滿期後二年以内(歸休ヲ命セラレ豫  
備ニ入りタル者ニアリテハ一年以内)ニ本籍地市、區、町  
村長及本籍地聯隊區司令官ヲ經テ服役セムトスル部隊長ニ

差出ス

(注意) 新令、舊例異ナルコトナシ

問、如何ナル公職ニ在ル者ハ勤務演習召集又ハ簡閱點呼ヲ免セ  
ラル、ヤ

答、市、區、町、村長、同助役、收入役其ノ他之ニ準スヘキ  
者、又ハ帝國議會、府縣會、郡、市、町、村會其ノ他之ニ  
準スヘキ者ノ議員トナリ開會中ニ在ル者、及文官ニ任セラ  
レ餘人ヲ以テ代フヘカラサル職ニ在ル者ハ勤務演習又ハ簡  
閱點呼ノ爲召集セラル、コトナシ

(注意) 舊例ニ於テハ外國ニ在ル者ヲモ加ヘアリシモ新令ニ於テハ外國ニ  
旅行又ハ在留スル者ニ對シテハ勤務演習召集又ハ簡閱點呼ヲ爲サ、ルコ  
トヲ得ト定メラレタリ又新令ニ於テハ二年在營ノ兵種ノ外當分ノ内臺灣  
ニ在留スル者ニ對シテハ點呼ヲ、朝鮮、樺太、關東洲又ハ滿洲ニ在ル者

ニ對シテハ勤務演習又ハ點呼ヲ行ハサルコト、セラレタリ

問、轉籍シタル者ハ如何ナル手續ヲ要スルヤ

答、轉籍シタルトキハ十四日以内ニ轉籍地ノ市、區、町、村

長ヲ經テ轉籍地聯隊區司令官ニ届出ツ又舊聯隊區司令官へ

ハ一ヶ月以内ニ届出ツ

(注意) 舊例ニ於テハ新舊聯隊區司令官ニ同時ニ届出ルコトニ定メアリタ

リ然ルニ新令ニ於テハ單ニ轉籍地聯隊區司令官ニノミ届出ルコトニ定メ

ラレタリ而シテ一ヶ月以内ニ舊籍地聯隊區司令官ニ届出ルコトハ兵籍規

則ニ依リ定メアリ

問、入夫婚姻、養子縁組及離婚、離縁、入籍、離籍、復籍、分

家、廢家、絶家再興ノ場合ハ如何ナル手續ヲナスヤ

答、轉籍届ノ名稱ヲ附シ十四日以内ニ轉籍地ノ市、區、町、

村長ヲ經テ轉籍地ノ聯隊區司令官ニ届出ツ又一ヶ月以内ニ

別ニ戸籍抄本ヲ添付シタル届書ヲ舊籍地市、區、町、村長

ヲ經テ舊籍地聯隊區司令官ニモ差出ス

(注意) 第二十五ノ注意ニ同シ

問、家督相續又ハ婚姻ヲナシ若クハ戸主ニ異動アリタルトキハ

如何ナル手續ヲナスヤ

答、其ノ届書ニ戸籍ノ抄本ヲ添へ一ヶ月以内ニ本籍地聯隊區

司令官ニ差出ス

(注意) 兵籍規則第八條ノ規定

問、妻ノ死亡、子ノ出生、新ニ恩給ヲ受ケ若クハ既得ノ恩給ニ

異動アリタルトキ、位階、爵、學位ノ拜受並返上、任官、免

官、官公吏ノ就、罷職ノ場合ニハ如何ナル手續ヲナスヤ

答、一ヶ月以内ニ本籍地聯隊區司令官ニ届出ツ

(注意) 兵籍規則第八條

問、氏名ヲ改メタルトキノ届出手續如何

答、届書ニ戸籍抄本ヲ添へ十四日以内ニ本籍地聯隊區司令官ニ差出ス

(注意) 新令、舊例異ナルコトナシ但新令ニ於テハ戸籍抄本ヲ添付スルコトニ定メラレタリ

問、船員トナリ若クハ船員ヲ罷メタルトキノ届出方如何

答、十四日以内ニ本籍地聯隊區司令官ニ届出ツ

(注意) 本件ハ三十年陸軍省令第二十六號第一條、第二條ニ依リ要求セラタル事項ニシテ従前ノ通

問、獨立守備隊ニ服務セムトスルトキノ願出手續如何

答、毎年三月十日ヨリ四月十日迄ニ本籍地市、區、町、村長ノ奥書證印ヲ得タル願書ヲ本籍地聯隊區司令官ニ差出ス但

軍樂部下士卒、助卒、輸卒、經理部縫工卒靴工卒ハ願出ツルコトヲ得ス

問、在郷軍人死亡セシトキノ届出方如何

答、病名、原因及死亡ノ地ヲ記シタル届書ヲ戸主(本人戸主ナレハ家族中家事ヲ擔當スル者)ヨリ十四日以内ニ本籍地聯隊區司令官ニ届出ツ

(注意) 新令、舊例異ナルコトナシ

問、在郷軍人所在不明トナリタルトキ又ハ所在不明者所在分明

セシトキノ届出方如何

答、十四日以内ニ戸主(本人戸主ナレハ家族中家事ヲ擔當スル者)ヨリ本籍地聯隊區司令官ニ届出ツ

(注意) 新令、舊例異ナルコトナシ

問、在郷軍人所在不明中轉籍シタルトキノ届出方如何

答、十四日以内ニ戸主(本人戸主ナレハ家族中家事ヲ擔當スル者)ヨリ轉籍地市、區、町、村長ヲ經テ轉籍地ノ聯隊區司令官ニ届出ツ

(注意) 舊例ニ於テハ新舊聯隊區司令官へ届出ツルノ規定ナリシモ新令ニ於テハ轉籍地聯隊區司令官ト定メラレタリ

問、在郷軍人充員召集令狀又ハ召集ノ通報ヲ受ケタルトキハ如何ニスルヤ

答、令狀ヲ携ヘ指定ノ日時ニ到着地ニ到着シ召集事務所ニ届出ツ但他行中通報人ヨリ通報ヲ受ケタルモノニシテ令狀ノ交付ヲ受クル爲到着ヲ遅延スル虞レアル場合ニ於テハ令狀ヲ携フルコトナク直ニ出發ス

問、充員召集ノ通報ヲ受ケタル應召員ニシテ指定ノ日時ニ到着スルコト能ハサル者ハ如何ニスルヤ

答、其ノ地所在ノ憲兵又ハ警察官吏ニ就キ其ノ通報ヲ受ケタル日時及出發日時ノ證明書ヲ受ケ到着ノ上召集事務所ニ届出ツ

問、充員召集令狀又ハ通報受領ノ際傷痍疾病ノ爲出發スルコト能ハサル者ハ如何ニスルヤ

答、令狀又ハ通報受領後二十四時間以内ニ聯隊區司令官ニ宛テタル届書ニ醫師ノ診斷證書及ヒ令狀ヲ添へ之ヲ本籍地市區、町、村長ニ差出ス

問、充員召集令狀ヲ受ケタル際傳染病豫防ノ爲交通遮斷、離隔又ハ停留ヲ命セラレタル者ハ如何ニスルヤ

答、令狀又ハ通報受領後二十四時間以内ニ聯隊區司令官ニ宛テタル届書ニ憲兵又ハ警察官吏ノ證明書及令狀ヲ添へ之ヲ



本籍地ノ市町村長ニ差出ス

問、充員召集ニ應スヘキ者令狀受領後出發迄ノ間ニ傷痍疾病ノ爲若クハ交通遮斷、離隔又ハ停留等ヲ命セラレタル爲メ應召スルコト能ハサルニ至リタルトキハ如何ニスルヤ

答、傷痍疾病ニ係ハル者ハ醫師ノ診斷證書、交通遮斷、離隔又ハ停留ヲ命セラレタル者ハ憲兵又ハ警察官吏ノ證明書ト共ニ令狀ヲ添へ本籍地市、區、町、村長ニ差出ス

問、傷痍疾病又ハ交通遮斷、離隔 停留ヲ命セラレタル爲應召シ能ハサル者其ノ事故止ミタルトキハ如何ニスルヤ

答、事故止ミノ旨ヲ直ニ本籍地市、區、町、村長ニ届出ツ

問、充員召集ノ爲應召途中ニアル者傷痍疾病ニ罹リ到着ヲ遅延スルノ虞アルトキハ如何ニスルヤ

答、直ニ醫師ノ診斷證書ヲ添へ召集部隊長ニ届出テ出發スルコトヲ得ルニ至リタルトキハ速ニ到着ノ上召集事務所ニ届出ツ

問、充員召集ノ爲應召途中ニアル者傷痍疾病ノ外止ムヲ得サル事故ニ依リ到着ヲ遅延スル虞レアルトキハ如何ニスルヤ

答、其ノ地ノ郡長、市、區、町、村長、憲兵、警察官吏、船長又ハ驛長ノ證明書ヲ受ケ到着ノ上召集事務所ニ届出ツ

問、充員召集ニ依ル應召員非常事變ニ依リ交通遮斷シタルタメ到着地ニ到着シ能ハサル場合ハ如何ニスルヤ

答、其ノ旨ヲ最寄諸部團隊長（諸部團隊長ナキ地ニアリテハ郡、市、區、町、村長、憲兵又ハ警察官吏）ニ届出ツ

問、充員召集ニ依ル應召員事故ノ爲歸郷ヲ命セラレタルトキハ

如何ニスルヤ

百七十四

答、二日以内ニ衛戍地ヲ出發シ郷里着後二日以内ニ本籍地郡市、區、町、村長ヲ經テ聯隊區司令官ニ届出ツ若シ本籍地以外二十日以上滞在若クハ寄留セムト欲スルトキ又ハ歸郷旅行十日以上ヲ要スルトキハ本籍地町村ニ於テ召集ノ命アルトキ之ヲ通報スヘキ軍人ニアラサル成年者ヲ通報人ト定メ歸郷ヲ命セラレタル日ヨリ二日以内ニ届出ツ

問、應召員ノ旅費ハ何レヨリ支給ヲ受クルヤ

答、召集部隊ニ到着ノ上其ノ部隊ヨリ支給ヲ受ク但旅費ヲ有セサル者ハ市、區、町、村長ニ申出テ一時繰替ヲ受クルコトヲ得

陸軍ノ法規ハ部隊ニ到着ノ上支給スルヲ本旨トスルカ故ニ

各自ハ平素ヨリ其ノ考ヘテ應召ノ際ノ旅費ニ充分ナル金額ヲ貯蓄シ置クノ心掛ヲ必要トス

問、應召員ハ令狀ノ外如何ナル必要品ヲ携行スルヲ要スルヤ

答、軍隊手牒、勳章及記章、自己ノ印、旅費、風呂敷又ハ油紙(梱包用麻繩及木札共)乗車證明書(鐵道ニ依ルモノ)、二食分ノ食事、留守宅擔當者ノ住所氏名届、ヲ携へ且色別ノ布片(大津ハ赤、敦賀ハ白、京都ハ黄、奈良ハ紫ニシテ應召員タルヲ識別スルニ用ユルモノ)ヲ右肩ヨリ左腋下ニ掛ケテ出發ス其ノ他自己ノ日用品若干ヲ携行スルモ妨ナシ

問、充員召集トハ如何ナル召集ヲ云フヤ  
答、動員ニ當リ諸部隊ノ要員ヲ充足スル爲在郷軍人ヲ召集スルヲ云フ

百七十五

問、臨時召集トハ如何ナル召集ヲ云フヤ

答、戰時又ハ事變ニ際シ必要アル時臨時ニ在郷軍人ヲ召集スルヲ云フ

問、演習召集トハ如何ナル召集ヲ云フヤ

答、勤務演習ノ爲在郷軍人ヲ召集スルヲ云フ

問、簡閱點呼ハ何ノ爲ニ執行セラル、ヤ

答、毎年一回在郷軍人ヲ集合シテ軍人精神及軍紀風紀ノ弛張  
軍事教育ノ保持、在郷軍人心得知得ノ良否ヲ點檢査閱シ在郷軍人ノ状態ヲ良好ニ維持セシメムカ爲ナリ

問、豫後備役各兵科下士ノ演習召集年次及日數如何

答、第二年ニ召集シ之ヨリ豫備役後備役ヲ通シテ二年置キトシ日數ハ豫備ハ四週間後備ハ三週間トス

問、豫、後備役各部下士ノ演習召集年次及日數如何

答、各役間各一回其ノ日數ハ豫備役ハ三週間、後備役ハ二週

間トス

問、豫、後備役歩兵科兵卒ノ演習召集年次及日數如何

答、豫備役ハ第二、第四年日數ハ三週間、後備役ハ第二、

第五年日ニシテ日數ハ三週間トス

問、豫、後備役騎兵、野砲兵、重砲兵、工兵、輜重兵科兵卒及

看護卒ノ演習召集年次及日數如何

答、豫備役ハ第三年日ニシテ日數ハ三週間、後備役（看護卒ヲ除ク）ハ第二、第五年日ニシテ日數ハ三週間後備役看護卒ハ第三、第六年日ニシテ日數ハ二週間トス

問、教育ヲ終リタル砲兵、工兵、補充兵ノ演習召集年次及日數

如何

答、第二、第四年目ニシテ其ノ日數ハ三週間トス

百七十八

大正三年八月一日印刷

大正三年八月五日發行

(定價金十五錢)

京都府紀伊郡深草村極樂七五八ノ一

發行兼印刷者 和田忠次郎

京都市外師團前

發行所 武揚社書店

復製  
不許

279  
940

電話 三三八番  
振替 二七九二番

終

